

# 第13回 定時総会議案書

日時 令和6年5月22日(水)

会場 武雄市文化会館 小ホール



公益社団法人 武雄法人会





公益社団法人 武雄法人会

## 第13回定時総会 記念公開講演会

# テーマ 『勝つ組織 負ける組織』



講師

スポーツジャーナリスト

# 二宮 清純氏

Ninomiya Seijun

### ■二宮清純プロフィール

スポーツジャーナリスト。株式会社スポーツコミュニケーションズ代表取締役。

#### 【略歴】

1960年、愛媛県生まれ。明治大学大学院博士前期課程修了。スポーツ紙や流通紙の記者を経てフリーのスポーツジャーナリストとして独立。オリンピック・パラリンピック、サッカーW杯、ラグビーW杯、メジャーリーグ、ボクシングなど国内外で幅広い取材活動を展開。広島大学特別招聘教授。大正大学地域構想研究所客員教授。経済産業省「地域×スポーツクラブ産業研究会」委員。認定NPO法人健康都市活動支援機構理事。

[HP] <https://www.ninomiya-sports.com>

#### 【主な著書】

- ・「スポーツ名勝負物語」（講談社現代新書）
- ・「勝者の思考法」（PHP新書）
- ・「プロ野球『衝撃の昭和史』」（文春新書）
- ・「変わらない組織は亡びる」（河野太郎議員との共著・祥伝社新書）
- ・「歩を『と金』に変える人材活用術」（羽生善治氏との共著・廣済堂出版）

## 法人会の基本的指針

法人会は

よき経営者をめざすもの団体として

会員の積極的な自己啓蒙を支援し

納税意識の向上を

企業経営および社会の

健全な発展に貢献します

### よき経営者の指針

- ① 経営者としての責務を果たすため自己研鑽に努める。
- ② 企業の健全な維持発展を図る。
- ③ 従業員が安心して働けるよう職場環境を整える。
- ④ 従業員教育と経営者育成に努める。
- ⑤ 良質の製品、商品、サービスを通じて社会に寄与する。
- ⑥ 適正な納税を通じて社会に寄与する。
- ⑦ 地域の一員として社会の発展に寄与する。

めざします 企業の繁栄と社会への貢献

# 定時総会次第

## 第1部 第13回 定時総会

14時00分～

1. 開会のことば
2. ご来賓の紹介
3. 会長あいさつ
4. 議長就任
5. 議事録署名人の指名
6. 定足数の報告
7. 報告事項
  - (1) 理事会承認事項
    - ① 令和5年度事業報告
    - ② 令和6年度事業計画及び収支予算報告
8. 議案の審議
  - 第1号議案 令和5年度決算報告承認の件
  - 第2号議案 その他
9. 法人会功労者表彰
10. ご来賓祝辞
  - 武雄税務署 署長 古川 博 様
  - 佐賀県武雄県税事務所 所長 古川 英生 様
11. 閉会のことば

## 第2部 記念公開講演会

15時30分～

総会報告事項（理事会承認事項） ①令和5年度事業報告について

令和6年4月22日 第1回理事会承認

# 令和5年度事業報告 (活動のトピックス)



公益社団法人 武雄法人会

# 令和5年度事業報告（活動のトピックス）

- 令和5年12月末現在全国の法人会員数は710,330社で、前年同月比7,760社の純減となっており、法人会活動の重要な運営財源である会費収入の減少が続いています。  
全法連としても危機的状況と捉え会員増強を最重要課題として会員数70万社台を堅持するための諸施策を実施しています。佐賀県内においても、ピーク時(平成10年)の83百社から27百社減少しており会員増強は喫緊の課題であり、全単位会が前年比プラスとなるよう増強に取り組んでいます。
- 武雄法人会の会員数の現状報告となりますが、武雄税務署管内の法人数2,298社、12月末会員数1,208社 加入率52.6%で、全国の平均31.6%を大きく上回っています。  
ちなみに佐賀県内5法人会の平均加入率は44.6%です。一年間の実績は退会社20社がありましたものの、新規入会21社の加入をいただき、期首より1社の増加を築くことが出来、10年間連続で会員数増加を記録することが出来ました。  
全国440の単位会の中でも上位に入る極めて優秀な法人会を維持しています。支部役員の皆様、税理士の先生、保険会社受託三社推進員の皆様のお力により結果に繋がっています。
- 法人会の事業運営は会員企業様の年会費と保険会社受託三社(大同生命・AIG 損保・アフラック生命)の保険料口座振替手数料収入によって支えられています。  
今後とも皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。
- 令和5年度事業におきましては、関連委員会並びに関連機関と連携を取って通常の事業活動が出来ておりますことをご報告いたします。
- 第12回定時総会記念公開講演会には、野球解説者の「達川光男氏」を講師としてお迎えして「達川式一流リーダーシップ論と育成術」というテーマでご講演をいただきました。  
一般のご来場者121名を含め聴講者は246名でした。
- 第9回武雄法人会会員向けチャリティゴルフコンペを開催しました。  
参加者は93名で、当日は晴天に恵まれ参加者全員日頃の練習の成果を発揮されました。  
令和6年度は第10回記念大会を11月に予定しております。
- 毎年11月の「税を考える週間」記念公開講演会には、読売テレビ報道局特別解説委員の「高岡達之氏」を講師としてお迎えして「ニュースの裏側から見る日本経済のゆくえ」というテーマで開催、聴講者は135名でした。
- 会報誌の編集コンセプトを「ローカルターゲット」として会員企業を紹介、当会法律顧問・労務顧問様の執筆をお願いするなど身近な記事を取材し、会報をより親しみやすいものに致しました。  
令和5年度は、夏期67号・冬期68号を発行致しました。
- これまでの「企業の繁栄と社会への貢献」という基本理念を再認識してサービスの一層の向上を図り、身近で愛されるみなさまの法人会として広報活動を継続し、公益社団法人としての公益事業に力点を置きつつ、会員企業様のお役に立てるよう頑張っておりますので、倍旧のご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



6年度も頑張るワン

## ◆貸借対照表上のポイント 「資産の部」 「負債の部」

貸借対照表について、流動資産が前年対比277千円増加し正味財産が181千円増加した。法人会の財務バランス上、特に問題になるような不健全資産はありません。

さらに負債についても問題になるようなものはございません。

## ◆正味財産増減計算書(総括表) 「経常収益の部」

- 事業収益の会員親睦事業収益が減少  
令和4年度は会員親睦事業として全国青年の集い「沖縄大会」へ15名参加し730千円の会員交流会費を受け入れました。令和5年度は通常の会員交流会費額に戻りました。
- 厚生部門を柱とする全法連からの助成金について、保険料の収入減の影響で受取助成金が前年対比減少となりました。経常収益に占める割合は54.6%で当会運営の要となっております。  
厚生部門は法人会加入のメリットとして今後も一層拡充連携を図ってまいりたいと思います。
- 厚生、研修部門の褒賞金と会議研修会の当日会費等により雑収益が前年対比増加



## ◆正味財産増減計算書(総括表) 「経常費用の部」

- 事業費の旅費交通費は、全法連全国大会、全国青年の集い、全国女性フォーラム等への派遣、公開講演会講師の旅費交通費となっております。  
令和4年度は全国青年の集い「沖縄大会」の旅費交通費を818千円程支出した為で、令和5年度は前年対比減少となりました。
- 諸謝金は研修会、講演会等講師に対する謝礼金です。公開講演会を年2回開催していますが、講師への謝礼金が前年対比減少となりました。

## ◆正味財産増減計算書内訳表について

- この計算書は企業にとっての損益計算書のようなものです。公益社団法人として非課税団体の指定を受けておりますが、その存続条件として公益事業の比率が50%以上達成されなくてはならないという縛りがあります。今期はその比率が59.8%と、条件を十分に満たしております。  
(以下の項目について従事割合に従い算出致します)

## ◆公益目的事業会計

- (公1)とは税知識の普及を目的とする事業、納税知識の高揚を目的とする事業、税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する公益目的の事業
- (公2)とは地域企業の健全な発展を目的とする事業、地域社会への貢献を目的とする事業
- (共通)とは(公1)(公2)のどちらにも共通する事業

## ◆収益事業等会計

- (他1)とは会員のための福利厚生事業
- (他2)とは会員支援のための親睦・交流に関する事業
- (共通)とは(他1)(他2)のどちらにも共通する事業

## ◆法人会計

- 武雄法人会を維持管理するための費用  
役員会他委員会など(ただし研修・税制・広報・厚生委員会を除きます)



明るく健全でいつもポジティブな法人会を志向して頑張ります。  
皆様のご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

令和6年4月22日 理事会第1号議案

# 公益社団法人 武雄法人会 「令和5年度事業報告書」 (令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

## ◆事業活動の基本方針

武雄法人会は公益法人化13年目となる令和5年度も、地域における「税のオピニオンリーダー」として「よき経営者をめざすものの団体」を標榜すると共に、「会員の積極的な自己啓発を支援し、「納税意識の高揚・向上」と「企業経営および地域社会の健全な発展に貢献する」という基本方針に則り、親会はもとより、青年部・女性部会の活動をより活性化させ、会員と関係団体さらには地域の皆様と協力・連携して各種事業活動を遂行してまいりました。

公益法人格としての社会的な立場に留意しつつも、会員組織としての二面性にも配慮しつつ活動を行いました。

とりわけ全国的にも、また県内においても会員数の減少に歯止めがかからぬ中、法人会の存在意義を根底から深く掘り下げ、会員のメリットの追及に力点を置いた、開かれた法人会として地道な活動に力点を置いてまいりました。

その結果、10年連続して今期も会員数の増強を達成することが出来ました。

次年度も引き続き常に武雄法人会の設立理念を根底に見据え、日々の地道な活動に邁進して活力溢れる法人会としての事業遂行に努力してまいりたいと思います。

## ◆主な事業報告

### I、公益目的事業関係

#### 1、税知識の普及を目的とする事業（公1）

小学生の頃より「税」に親しんで理解を深めて貰うべく、当会青年部・女性部会員で構成される社会貢献プロジェクト委員会を中心に、毎年武雄税務署管内の小学校の6年生を対象とした租税教室・税の絵はがきコンクールを開催しています。

今年度は令和5年6月1日に武雄市立朝日小学校(83名)、6月5日に嬉野市立轟小学校(25名)、6月6日に武雄市立山内東小学校(35名)、6月15日に鹿島市立浜小学校(21名)、の4校で合計164名の児童を対象に、夫々開催致しました。租税教室は税務署で「租税教室講師養成研修会」を受講した青年部の租税教育活動委員会会員の授業主導の下、アニメなども教材に使いながら、税で支えられている社会の仕組みを判り易く教えるものです。また教材として全法

連が作成した税の啓発用漫画冊子「タックスファンドとけんた君」を、実施した4校の児童に配布、さらに武雄税務署にも租税教室のテキストとして合計2500冊を配布致しました。

さらに、女性部会が主体となって開催する「税に関する絵はがきコンクール」を上記の4校で実施、合計96点の作品応募が寄せられました。

例年通りに、武雄税務署署長様、統括国税調査官様、当法人会会長、女性部、青年部の部会員さんと外部の学識経験者を交え、厳正な審査の結果、武雄法人会会長賞・審査委員長賞・青年部会長賞・女性部会長賞を各校より1点ずつ、武雄税務署長賞を4校より1点選出し、入賞作品についてはクラスの規模により多寡がありますが、平均すると7~8作品を選出しております。尚、全応募作品の中より最優秀作品1点については県連審査会を経て九州北部法人会連合会審査へ提出しています。

それぞれの小学校の入賞作品については、女性部・青年部から部会員が出席して校長室等で表彰式を行い、賞状と記念品を贈らせて頂きました。さらに優秀作品については対象となった小学校の近くの金融機関、郵便局、学校に1か月程展示し、武雄税務署様の入り口に確定申告時から掲示をさせて頂いております。

また、納税貯蓄組合連合会が主催する中学生「税の作文コンクール」の作文審査を青年部のサポートを仰ぎながら、女性部会が主体となって実施しております。

今年度は管内中学校19校の内11校から応募がありました。3年生を対象として原稿用紙を配布し、夏休み明けに回収された応募作品は742編でした。納税貯蓄組合連合会 富永正嗣会長のご指導の下、税に関する独創的な体験、税に対する感謝や思いの表現力、文章の構成力、共感性など多角的な観点から採点を行いました。

第一次選考で20編の作文に絞り込み、選考の結果上位5編を入賞としました。

尚、上位2編の作文につきましては佐賀県連合会へ上申しています。

## 2、税務知識の高揚を目的とする事業（公1）

### (1)税務研修会

税務知識の習得は企業における、よりよき経営の必須条件であるばかりでなく、正しい申告納税制度を推進させることにも寄与する大切な仕事であることから、年に一回の割合で、武雄税務署と共催で、「新設法人説明会」を開催しています。

令和5年度は17社21名のご参加を頂きました。新設法人に対する法人会計の説明をDVD等で行いましたが、当会への入会アプローチが今後の課題であり、次年度はさらに相応しい取り組みを行いたいと思います。

また武雄税務署法人課税部門のご協力を得て、毎年四半期に一度の頻度で「決算事務説明会」を開催しています。令和5年度は5月40名、9月33名、11月8名、2月40名、合計121名の参加を頂きました。当会よりその際には全法連が策定した「税務コンプライアンスチェックシート・入門編」を配布して、その活用についての説明を致しました。

10支部にまたがる支部研修会は、例年武雄税務署各部門のご担当様などを講師にお迎えして地域毎に開催しておりますが、令和2年度より各支部で講師を選定して頂き5名の講師へ

お願いして研修会を開催致しました。講師とテーマは以下の通りです。①税理士法人 とみなが会計 税理士 富永正嗣氏「税と経営」税理士から診た経営者の姿勢と経営者の成功事例について ②井手社会保険労務士事務所 社会保険労務士 井手静雄氏「人生100年時代の分かれ道(ハウレンソウからザッソウへ)」「心理的安全性・世代間ギャップの正体・CSR・リスクリング」について ③司法書士法人 アドヴァンス 司法書士 土井大史氏「成年後見人制度について」 ④九州北部税理士会 武雄支部長 税理士 白川幸一郎氏「消費税インボイス制度について」 ⑤一般社団法人 鹿島デジタル社会推進協会 理事長 岩永信二氏「経営に役立つDX」～今、組織に必要な準備とは?～ 会員企業より220名、非会員企業より24名の合計244名のご参加を頂きました。

また、毎年11月11日から17日に開催される「税を考える週間」に協調する意味から、武雄税務署長様を講師としてお迎えして、当会より青年部会、女性部会会員及び武雄間税会との共催による合同税務研修会を開催し、古川博 税務署長様より「税務行政の現状と課題」と「税のよもやま話」と題して、ご講演を33名の参加で拝聴致しました。

11月8日の税を考える週間記念公開講演会は、読売テレビ報道局特別解説委員の「高岡達之氏」を講師に迎え「ニュースの裏側から見る日本経済のゆくえ」というテーマでご講演を頂きました。聴講者は、会員89名、一般46名、合計135名でした。

広報手段として当会会報誌、新聞掲載、チラシ配布、管内地域のケーブルテレビ各社で告知をお願いし、また当会ホームページにも掲載するなどして、広く一般の方々にも周知を図りました。

## (2) 広報事業

税の広報誌として「ほうじん武雄」を毎年8月と1月の二回にわたり定期的に発行しておりますが、今年度も編集方針を「もっと身近な会報へ」と常に見直しを行い、会員企業訪問シリーズや、顧問弁護士、顧問社会保険労務士による専門知識の習得に結び付く連載随筆などの掲載、さらに法人会活動の写真を多く掲載し、レイアウトに工夫を凝らし、親しみ易くまた見易く致しました。また国が提唱するe-Tax(国税電子申告・納税システム、軽減税率の周知活動)の普及についても関連記事の掲載を行っています。今年度は、夏期67号・冬期68号を発行致しました。発行部数2100部のうち会員向けに1200部を発送し、市役所・町役場・金融機関・商工会議所・商工会などに一般向けとして900部を配布しています。また全法連発行の「ほうじん」は季報として年4回夫々1600部発行されておりますが、「ほうじん武雄」と同様に配布しております。

さらに、当会のホームページを利用した税の啓蒙活動につきましても、支部研修会、決算事務説明会、租税教室、税を考える週間などにおける活動状況を頻繁に更新して紹介し、広く情報公開しております。

## 3、税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業 (公1)

令和6年度税制改正に関するアンケート調査の実施については、当会税制委員会委員を始めとして、役員、九州北部税理士会武雄支部、青年部・女性部会員、一般会員からランダムに抽

出して本会より30社の回答を得ました。これらの意見を包含して、令和6年度税制改正要望事項の検討については、県連税制委員会により佐賀県単位会の総意として要望事項が取り纏められました。その意見集約された提言は法人会全国大会において、採択された要望事項が発表されています。

また、12月に当会の会長、税制委員長、事務局で令和6年度の税制改正提言書を、管内の自治体(武雄市・鹿島市・嬉野市)の首長・議会議長を訪問し直接手渡しして、税制改正提言へのご理解と法人会活動へのご協力を要請致しました。

## 4、地域社会への貢献事業 (公2)

### (1) 公開講演会

5月24日の定時総会記念公開講演会は、野球解説者の「達川光男氏」を講師に迎え「達川式一流リーダーシップ論と育成術」というテーマでご講演を頂きました。聴講者は、会員125名、一般121名、合計246名でした。

6月16日の女性部会定時大会においては、講師に学校法人 旭学園 理事長 内田信子氏を迎えて、テーマ「人生100年時代の過ごし方」の研修会を開催しました。32名の参加でした。

また、6月19日の青年部会定時大会においては、講師に司法書士法人 アドヴァンスの土井大史氏を迎えて、テーマ「相続の手続きと新しい遺言書制度について」の研修会を開催しました。32名の参加でした。

### (2) アルモニア管弦楽団演奏会の開催

令和5年度の地域社会貢献活動の一環として青年部・女性部会員を中心として、武雄市立朝日小学校(児童数約500名)と、武雄市立御船が丘小学校(3年生・4年生・5年生児童数約300名)父兄11名の総合計811名へ本物のクラシックコンサートを体験して頂こうと恒例の学校コンサートを開催致しました。

演奏会の冒頭青年部会員より「税の大切さ」などのショート講話を行い、福岡・佐賀のプロ演奏家集団アルモニア管弦楽団(代表 久原興民氏他12名)の素晴らしいクラシック音楽の生演奏を聴いてもらい、最後は管弦楽をバックに声高らかにそれぞれの校歌を合唱して頂きました。初体験だったという子供さんばかりで、フルートやクラリネット、トランペットやマリンバなどの一つ一つの楽器を紹介されるプログラムに目を輝かせておられました。毎年開催して来て思うことは、普段は聴くことのできない生の管弦楽の素晴らしさは多感な児童・生徒さんの胸に響くことと思われ、とても意義深いものがあります。

### (3) 愛の献血運動

献血運動は、本会の社会貢献活動の一環としてこれまで継続事業として積極的に取り組んでまいりましたが、今年度で25年目となり、地域の皆様に法人会の献血運動と定着するまでになりました。今年度は武雄市、鹿島市、嬉野市の3地区3会場で当会の女性部会など、延べスタッフ14名の動員で行い、受付者284名、採血者247名の実績でした。なお毎年、献血にお見えになった皆様には、当会より箱ティッシュ5箱・甘納豆・佐賀県米の新米などをプレゼン

トさせて頂いておりますが、今年度も大好評を博しました。

尚、赤十字事業の進展に永年に亘り寄与したとの理由で、佐賀県赤十字血液センター様より武雄法人会へ「銀色有功章」が授与されました。

#### (4)新作カレンダーバザー展へのカレンダー寄贈

毎年の年末に佐賀市で開催されている赤い羽根共同募金会主催の「新作カレンダーバザー展」に当会会員企業10社から募った168点の新作カレンダーを出品し、その売上金は県連を通して県内5単位会で集約され、その収益金を赤い羽根募金会へ寄付致しました。

#### (5)管内公共施設等への備品寄贈事業

地域社会への貢献事業として、管内公共施設等への備品寄贈を計画していることから、令和5年度は「加湿機能付空気清浄機」を鹿島市へ4台、嬉野市へ3台寄贈しました。寄付の目的は、市民が集う場所へ空気清浄機設置による除菌対策です。

令和6年度は杵島郡3町の白石町、江北町、大町町と藤津郡太良町への寄贈を計画しています。

## 5、地域企業の健全な発展を目的とする事業 (公2)

### 実務研修会(新社会人セミナー・パソコン教室)の開催

#### (1)新社会人セミナー

令和5年度の同セミナーのテーマは、「知って得するビジネスマナー」と題して「接客・接遇・電話対応」を実践的にセミナー形式で開催、管内企業の社員教育の一環と致しました。

今年度は会員企業より57名の参加を頂きました。講師の招聘では東京都より 道株 代表取締役 自覚真由美先生にお願いして好評を博しております。

#### (2)パソコン教室の開催

社員教育の一環として、パソコンスキルアップ「ワード」・「エクセル」の実践的なビジネス活用を目指した講習会を三日間連続して実施致しました。

講師に(有)イツツデモ社長の田代真一氏を招聘して「ビジネスにすぐ使えるワード・エクセル」というテーマで、受講者は延べ72名の参加でした。

今回の特徴として初日は初心者を対象とした、電源入れからマウス操作・キーボード操作・入力等・簡単な文章作成等、2日目はビジネス文章の作成等・表計算・集計表作成等初級コース、3日目はグラフ・データベース・複数シートの操作等中級コース・関数を使って請求書・顧客住所録・賃金計算書作成等を設けたことでした。

またマンツーマンの講習なので理解しやすいと好評でありました。

## II、収益事業関係

### 1、会員企業の福利厚生に関する事業 (他1)

法人会企業の企業保全と人材保障に備える法人会の福利厚生事業として以下の制度の普及拡

大を図りました。当会役員の関係団体との連携を強化継続中です。

#### (1) 経営者大型保障制度の普及推進

#### (2) ビジネスガードの普及推進

#### (3) がん保険制度・医療保険制度の普及推進

#### (4) 貸倒保障制度(取引信用保険)の普及推進

## 2、会員支援のための親睦・交流等に関する事業 (他2)

### (1) 青年部会視察研修・女性部会視察研修会の実施

#### ① 青年部会視察研修

青年部会員同士の親睦交流の一環として毎年視察研修会を実施しています。

今年度は佐賀県立名護屋城博物館を視察し、13名の部会員が参加しました。

#### ② 女性部会視察研修

福岡市の博多織工芸館並びにTASAKIへ視察研修を実施しました。

総勢14名の参加で会員同士の親睦交流を深め、絆を確認しました。

### (2) 異業種交流会

大人数密集で飲食を伴うために、異業種交流会は見送りました。

状況を見ながら再開を計画していきたいと思っております。

### (3) 法人会ゴルフコンペ

#### 第9回武雄法人会会員向けチャリティゴルフコンペ

大会実行委員長山口健一氏の指揮の下、10月24日武雄嬉野国際カントリークラブで93名の参加により開催しました。当日は晴天に恵まれ、参加者全員日頃の練習の成果を遺憾なく発揮されました。今年度もチャリティーホールでの収益金50,000円を当会の会員でもある武雄市社会福祉協議会と嬉野市社会福祉協議会へ寄贈させて頂きました。令和6年度大会は11月に予定しております。

## III、公益収益事業の詳細並びに会員、青年部・女性部会員、支部別会員、福利厚生制度の推移について

税知識の普及と高揚を目的とする事業、税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業、地域社会への貢献事業、地域企業の健全な発展を目的とする事業並びに主催した会議、出席した会議、及び青年部・女性部会員の活動等の詳細につきましては、別紙の事業報告の付属明細書をご確認ください。

また、当会の会員数、青年部・女性部の会員数、福利厚生制度の推移につきましては、別紙グラフに掲載しておりますので、ご確認ください。

# 事業実施報告の附属明細書

## I. 公益目的事業関係

### 1. 税知識の普及を目的とする事業

【武雄法人会】

開催年月日	事業名	内 容
5.4.~	税の啓発活動	税知識の普及、納税啓発用冊子「クイズだぜい」、「タックスフントとけんたくん」を小学生の租税教室等にて配布。
5.9.15	中学生「税の作文コンクール」募集及び選考会。	7月上旬管内中学校希望校へ作文依頼。 9月上旬作文回収、選考会。(11校 742編応募)
5.6.1	租税教室および税に関する絵はがき募集	武雄市立朝日小学校 6年生 83名 (青年部会) " (女性部会)
5.6.5	租税教室および税に関する絵はがき募集	嬉野市立轟小学校 6年生 25名 (青年部会) " (女性部会)
5.6.6	租税教室および税に関する絵はがき募集	武雄市立山内東小学校 6年生 35名 (青年部会) " (女性部会)
5.6.15	租税教室および税に関する絵はがき募集	鹿島市立浜小学校 6年生 21名 (青年部会) " (女性部会)
5.6.~ 6.3.末	第14回税に関する絵はがきコンクール 審査会	7月中旬 絵はがき回収 4校 96点/164名 9月27日審査会 会長賞4点、署長賞1点、審査委員長賞4点、青年部会長賞4点、女性部会長賞4点、入賞30点を決定
	" 表彰式	11/6(浜小学校) 11/14(轟小学校) 11/20(朝日小学校) 12/11(山内東小学校)
	" 展示	各小学校校内、入賞作品まで 武雄税務署 《令和6年3月末日迄展示》

4.11.10

### 2. 税務知識の高揚を目的とする事業

#### (1) 税務研修会

開催年月日	研修会名	内 容	参加人数
5.6.7	新設法人説明会	①法人税、消費税(インボイス制度含む)、源泉税、印紙税等申告について、自主点検チェックシート等 講師 武雄税務署 法人課税部門担当官	会員 1名 非会員 20名
<b>(新設法人) 会員 1名・非会員 20名 小計 21名</b>			
5.5.12	決算事務説明会 (4・5・6月決算法人)	①会社の決算と申告の実務について ②税制改正事項について ③企業のコンプライアンスについて 他質疑応答 講師 武雄税務署 法人課税部門担当官	会員 32名 非会員 8名
5.9.11	決算事務説明会 (7・8・9月決算法人)	①会社の決算と申告の実務について ②税制改正事項について ③企業のコンプライアンスについて 他質疑応答 講師 武雄税務署 法人課税部門担当官	会員 24名 非会員 9名
5.11.17	決算事務説明会 (10・11・12月決算法人)	①会社の決算と申告の実務について ②税制改正事項について ③企業のコンプライアンスについて 他質疑応答 講師 武雄税務署 法人課税部門担当官	会員 2名 非会員 6名
6.2.8	決算事務説明会 (1・2・3月決算法人)	①会社の決算と申告の実務について ②税制改正事項について ③企業のコンプライアンスについて 他質疑応答 講師 武雄税務署 法人課税部門担当官	会員 30名 非会員 10名
<b>(決算事務説明会) 会員 88名・非会員 33名 小計 121名</b>			

開催年月日	研修会名	内 容	参加人数
5.11.15	鹿島支部研修会	◆「経営に役立つDX」 ～今、組織に必要な準備とは?～ (一社) 鹿島デジタル社会推進協会 理事長 岩永信二氏	会員 45名 非会員 2名
5.11.22	嬉野支部研修会	◆「税と経営」 ～税理士から診た経営者の姿勢 と経営者の成功事例について～ (税法) とみなが会計 税理士 富永正嗣氏	会員 14名 非会員 2名
5.11.24	武雄支部研修会	◆「人生100年時代の分かれ道 ホウレンソウからザッソウへ」、「心理的人間性・世代間ギャップの正体・CSR・リスクリング」 社会保険労務士事務所 労務士 井手静雄氏	会員 32名 非会員 4名
5.11.29	山内支部研修会	◆「経営に役立つDX」 ～今、組織に必要な準備とは?～ (一社) 鹿島デジタル社会推進協会 理事長 岩永信二氏	会員 16名 非会員 2名
5.12.21	江北支部研修会 大町支部研修会	◆「インボイス制度について」 税理士法人 白川会計 税理士 白川幸一郎氏	会員 18名 非会員 3名
6.1.24	太良支部研修会	◆「人生100年時代の分かれ道 ホウレンソウからザッソウへ」、「心理的人間性・世代間ギャップの正体・CSR・リスクリング」 社会保険労務士事務所 労務士 井手静雄氏	会員 28名 非会員 3名
6.2.2	白石支部研修会	◆「人生100年時代の分かれ道 ホウレンソウからザッソウへ」、「心理的人間性・世代間ギャップの正体・CSR・リスクリング」 社会保険労務士事務所 労務士 井手静雄氏	会員 39名 非会員 4名
6.2.5	塩田支部研修会	◆「経営に役立つDX」 ～今、組織に必要な準備とは?～ (一社) 鹿島デジタル社会推進協会 理事長 岩永信二氏	会員 13名 非会員 2名
6.2.6	北方支部研修会	◆「成年後見人制度について」 (司法書士法人アドヴァンス) 司法書士 土井大史氏	会員 15名 非会員 2名
<b>(10支部研修会) 会員 220名・非会員 24名 小計 244名</b>			
5.11.8	「税を考える週間」 法人会青年・女性部会・ 間税会合同税務研修	「税務行政の現状と課題」と「税のよもやま話」 講師 武雄税務署長 古川博氏	会員 29名 非会員 4名
5.11.8	「ニュースの裏側から見る日本経済のゆくえ」(税を考える週間 公開講演会) 講師 読売テレビ報道局特別解説委員 高岡達之氏		会員 89名 非会員 46名
<b>会員 118名・非会員 50名 小計 168名</b>			

(2) 広報事業

実施年月日	内 容	発行部数	配布先
5.8	<p><b>広報誌「ほうじん武雄」 No.67</b></p> <p>企業訪問 ◇居食亭 豊            &lt;&lt;真心のおもてなしで 至福にひとときをお届けします。&gt;&gt;            行列のできる身近な「法律」アラカルト            ◇弁護士になる前の私の職業について            みどり法律事務所 所長 鬼橋正敏氏</p> <p>行列のできる身近な「労務」アラカルト            ◇雑談革命            井手社会保険労務士事務所 所長 井手静雄氏</p> <p>着任のご挨拶 武雄税務署長 古川 博氏            会長就任ご挨拶 公益社団法人 武雄法人会 会長 愛野時興  <b>武雄法人会(活動報告)</b>            ◇第12回定時総会開催報告・理事会・各委員会他報告            ◇青部エクスプレス・女性部会桔梗便り(絵はがきコンクール)            ◇組織図・各会議及び事業報告等 他            ◇各種研修会(決算事務説明会・新社会人セミナー他)            ◇税を考える週間事業活動(公開講演会等お知らせ)            ◇会員向けチャリティゴルフコンペのご案内 他</p> <p><b>武雄税務署からのお知らせ</b>            ◇令和5年10月からインボイス制度が始まります! 他</p> <p><b>法人会からのお知らせ</b>            ◇新規加入社紹介 ◇法人会会員ご入会のお祝い            ◇愛読者クイズ(豪華佐賀和牛焼肉セットプレゼント5名様)            受託保険会社より(大同生命・AIG 損害保険・アフラック)</p>	2,100	全会員 市役所 役場 商工会議所 商工会 税理士会 公民館 金融機関 その他
6.1	<p><b>広報誌「ほうじん武雄」 No.68</b></p> <p>企業訪問 ◇肥前もちあめ こがねの雫            もちごめを原料にした水あめの製造販売            「有限会社 山城商店」</p> <p>行列のできる身近な「法律」アラカルト            ◇弁護士になる前の私の職業について            みどり法律事務所 弁護士 鬼橋正敏氏</p> <p>行列のできる身近な「労務」アラカルト            ◇「51対49の法則」            井手社会保険労務士事務所 所長 井手静雄氏</p> <p>新年のご挨拶 武雄法人会 会長 愛野時興            新年のご挨拶 武雄税務署 署長 古川 博氏  <b>武雄法人会(活動報告)</b>            ◇税を考える週間事業活動報告(署長講話・高岡達之氏講演会)            ◇税制改正に関する提言陳情活動報告            ◇社会貢献事業活動(愛の献血運動・アルモニア管弦楽団演奏等)            ◇各研修会報告(消費税インボイス制度説明会・支部研修会他)            ◇税に関する絵はがきコンクール開催(朝日小学校他3校)            ◇会員交流会(ゴルフコンペ)            ◇青年部エクスプレス(全国青年の集い)・女性部会桔梗便り</p> <p><b>武雄税務署からのお知らせ及び武雄間税会より</b>            ◇確定申告について ◇令和5年度「税の標語入賞作品」</p> <p><b>法人会からのお知らせ</b>            ◇新規加入社紹介 ◇法人会会員ご入会のお祝い            ◇愛読者クイズ(豪華佐賀和牛焼肉セットプレゼント5名様)            受託保険会社より(大同生命・AIG 損害保険・アフラック)</p>	2,100	全会員 市役所 役場 商工会議所 商工会 税理士会 公民館 金融機関 その他
5.4~6.3	全法連発行「ほうじん」 春、夏、秋、新年号	1,600(各号)	
5.4~6.3	e-Tax(国税電子申告・納税システム)利用促進		
5.4~6.3	ホームページ毎月更新		

3. 税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業

事業名	開催年月日	内 容
税制改正要望活動	5.4.	令和6年度税制改正に関するアンケート実施
	5.5.	令和6年度税制改正要望事項検討・作成
	5.12.1	令和6年度税制改正要望事項について 武雄市・鹿島市・嬉野市の市長、議長に陳情

4. 地域社会への貢献事業

(1) 公開講演会

開催年月日	内 容・テーマ	講 師	参加人員
5.5.24	「達川式 一流リーダーシップ論と育成術」 (第12回定時総会記念 公開講演会)	野球解説者 達川 光男 氏	会員 121名 一般 125名
5.6.16	「人生100年時代の過ごし方」	学校法人 旭学園理事長 内田 信子 氏	会員 24名 一般 8名
5.6.19	「相続の手続きと新しい遺言書制度について」 「相続登記の義務化について」	司法書士法人 アドヴァンス 司法書士 土井 大史 氏	会員 23名 一般 9名
<b>会員 168名・一般 142名 計 310名</b>			

(2) アルモニア管弦楽団演奏会

開催年月日	内 容	場 所
5.11.20	◇税金の使われ方や税の大切さのお話 (青年部会租税教育活動委員 原田部会長・山崎(剛) 委員長) アルモニア管弦楽団による演奏会(約40分間) 楽団:久原興民氏 他11名	10:25~ 朝日小学校 体育館 13:40~ 御船が丘小学校 体育館
	朝日小学校生徒 500名 御船が丘小学校生徒 300名 父兄他 計811名	

(3) 愛の献血運動

開催年月日	内 容	場 所	参加人数
5.6.23	献血(嬉野ライオンズクラブ共催) 受付 85名 献血者 74名	嬉野市役所 嬉野庁舎	
5.11.19	献血(武雄中央・御船ライオンズクラブ・ソロブチ共催) 受付 73名 献血者 55名	武雄物産まつり会場	3地区 スタッフ 14名
5.12.6	献血(鹿島ライオンズクラブ・薬剤師会共催) 受付 126名 献血者 118名	エイブル(鹿島市)	
<b>*受付合計 284名 献血者計 247名</b>			

(4) 新作カレンダーバザー展へのカレンダー寄贈

開催年月日	内 容
5.12.中旬	“2024 新作カレンダー”バザー展へカレンダー提供 ~ 赤い羽根共同募金会 10社 168点

(5) 寄贈事業

開催年月日	内 容	場 所	参加人数
6.2.15	加湿機能付き空気清浄機 鹿島市・嬉野市教育委員会 (7台)	鹿島市役所 嬉野市役所	会長・事務局

5. 地域企業の健全な発展を目的とする事業

(1) 実務研修会

開催年月日	内 容・テーマ	講 師	参加人数
5.6.26	新社会人セミナー“知って得するビジネスマナー” 《大切なお客様に心から満足して頂くために》 ビジネスマナーの再確認 (接客・接客・電話対応) ①クレーム対応について ②タイプ別つきあい法 ③個別質疑応答	道 株 代表取締役 自覚 真由美 氏	会員 52名 非会員 5名
5.12.6 7 8	パソコン「ワード」・「エクセル」講習会 ①初めてのパソコン (文字入力から) ②Word (ビジネス文章の作成等) ③Excel (表計算・集計表作成等初級コース) ④Excel (よく使う関数、請求書・住所録等の作成)	(有)イツデモ 社長 田代 真一 氏	会員 72名

6. 会員支援のための親睦・交流等に関する事業

(1) 本会 (支部)・青年部・女性部会視察研修

開催年月日	内 容・テーマ	開催地・視察先	参加人数
5.10.24	第9回 法人会親睦ゴルフコンペ	武雄嬉野カントリークラブ	93名
6.1.17	視察研修会及び交流会 (女性部会)	博多織工芸・TASAKI	14名
6.1.23	視察研修及び親睦会 (青年部会)	名護屋城博物館 他	13名
5.10.15 6.2.9	11/15 鹿島支部 (47名)、 11/22 嬉野支部 (16名)、 11/24 武雄支部 (36名)、 11/29 山内支部 (18名)、 12/21 江北・大町支部 (21名)、 1/24 太良支部 (31名)、 2/2 白石支部 (43名)、 2/5 塩田支部 (15名)、 2/6 北方支部 (17名) ◇10各支部において研修会終了後交流会	各支部研修会開催会場にて	244名

II. 主催した会議

会 議 名	開催年月日	議 題 等
会計監査	5.4.14	令和4年度会計監査
正副会長会議	6.3.22	1. 第4回理事会に向けて 他
第1回理事会	5.4.19	<b>【議案審議】</b> 1. 令和4年度事業報告並びに決算報告承認の件 監査報告 2. 定款一部改定承認の件 3. 任期満了に伴う役員改選案承認の件 4. 理事と法人会の利益相反取引承認の件 他 5. その他 <b>【報告事項】</b> 1. 第12回定時総会について 2. 令和5年度事業計画および収支予算について 3. 功労者表彰及び感謝状対象者について 4. 代表理事による業務執行状況報告 5. 当面の日程について 他
第2回理事会	5.5.24	1. 代表理事及び副会長他選定承認の件について
第3回理事会	5.10.6	<b>【報告・連絡事項】</b> 1. 令和5年度支部役員会及び支部研修会実施について 2. 令和5年度会員増強対策について 3. 税を考える週間「公開講演会」及び税務研修会について 4. 代表理事による業務執行状況報告 5. 今後の行事日程についてのお知らせ 他
第4回理事会	6.3.22	<b>【協議事項】</b> 1. 令和6年度事業計画案及び収支予算案承認の件 2. 第13回定時総会招集手続き承認の件 他 <b>【報告・連絡事項】</b> 1. 令和6年度第13回定時総会前第1回理事会開催について 2. 定時総会時における「公開講演会」、「交流会」等について 3. 令和5年度会員増強結果について 4. 代表理事による業務執行状況報告 5. 今後の行事日程についてのお知らせ 他
第12回定時総会	5.5.24	<b>【議案審議事項】</b> 1. 令和4年度事業報告及び決算報告承認の件 (監査報告) 2. 定款一部改定案承認の件 3. 任期満了に伴う役員改選承認の件 4. 表彰事業 他 <b>【報告事項】</b> 1. 令和4年度事業報告について 2. 令和5年度事業計画及び収支予算について <b>【法人会功労者表彰】</b> <b>【公開講演会】</b> 講師 達川光男氏 (野球解説者)
五者協議会 (署・税理士会・間税会・ 納貯連・法人会)	5.12.19	<b>【報告・連絡事項】</b> 1. 各5団体の当面の活動報告と懸案事項について 2. 租税教育活動等関連について意見交換会
支部役員会 鹿島支部	5.10.11	1. 令和5年度鹿島支部組織及び活動について 2. 福利厚生事業について 他

会議名	開催年月日	議題等
武雄支部	5.10.16	1. 令和5年度武雄支部組織及び活動について 2. 福利厚生事業について 他
嬉野支部	5.10.26	1. 支部研修会日程及び会員増強対策について 2. 福利厚生事業について 他
山内支部	5.11.2	1. 令和5年度武雄支部組織及び活動について 2. 会員増強対策について 3. 福利厚生事業について 他
白石支部	5.12.11	1. 支部研修会日程及び会員増強対策について 2. 福利厚生事業について
太良支部	5.12.18	1. 支部研修会日程及び会員増強対策について 2. 令和5年度会員増強及び福利厚生事業について
《税制委員会関連》	5.4.上旬 5.4.7 5.5.下旬	1. 令和6年度税制改正に関するアンケートのお願い 1. アンケート回収後全法連送付 1. 令和6年度税制改正要望意見書案小池委員長へ送付
税制改正提言陳情事業	5.12.1	1. 鹿島市役所・嬉野市役所・武雄市役所
《研修委員会関連》 第1回研修委員会	5.11.8	<b>【協議事項】</b> 1. 令和5年度今後の事業活動について 2. 税を考える週間「公開講演会」開催について 3. 支部役員会及び支部研修会について 4. 今後の確定行事について 他
《組織委員会関連》 第1回組織委員会	5.9.5	<b>【協議事項】</b> 1. 令和5年度会員増強対策について 2. 各支部において令和5年度会員増強に向けての協議会開催について
《厚生委員会関連》 第1回厚生委員会	5.9.5	<b>【協議事項】</b> ◇第1回福利厚生制度連絡協議会 1. 令和5年度受託3社推進状況報告（大同生命・AIG 損保・アフラック） 2. その他
法人会会員交流 コンペ実行委員会	5.6.13	1. 第9回会員交流チャリティーコンペ実施日程等について 2. 景品等について 他

### Ⅲ. 出席した会議等

会議名	開催年月日	議題等
県連総務委員会	5.6.2	<b>【協議・報告事項】</b> 1. 令和4年度事業報告及び決算承認の件について 2. 令和5年度予算について 3. 任期満了に伴う役員改選について 他
”	6.3.19	<b>【報告事項・協議事項】</b> 1. 全法連総務委員会報告（2/24 リモート参加） 2. 令和6年度事業計画及び予算(案)について 3. 第12回県連定時総会開催について 他
県連理事会	5.6.8	◇第1回理事会 <b>【協議事項】</b> 1. 県連定時総会の開催日時・会場・式次 2. 令和4年度事業報告及び決算承認の件について 3. 令和5年度予算について 4. 任期満了に伴う役員改選について 他
”	6.3.26	◇第2回理事会 <b>【報告・協議事項】</b> 1. 令和5年度事業報告 2. 令和6年度事業計画及び予算(案)について 3. 第11回県連定時総会開催について 他
県連第11回定時総会	5.6.20	<b>【報告事項】(理事会承認事項)</b> 1. 令和4年度事業報告及び決算承認の件 2. 公益目的支出計画実施報告の件 3. 令和5年度事業計画及び予算承認の件 4. 任期満了に伴う役員改選について 他 <b>【協議事項】</b> ◇第1号議案 令和4年度決算承認の件 ◇第2号議案 任期満了に伴う役員改選承認の件
県連組織委員会	5.8.25	◇第1回組織委員会 <b>【報告・協議事項】</b> 1. 全法連組織委員会報告 2. 会員数状況（推移）報告 3. 各单位会令和5年度会員増強計画について 他
”	6.3.7	◇第2回組織委員会 <b>【報告・協議事項】</b> 1. 全法連組織委員会報告 2. 増強月間の単位会報告 他
県連厚生委員会	5.7.12	◇第1回厚生委員会 <b>【協議・報告事項】</b> 1. 全法連厚生委員会報告 2. 令和4年度県連厚生事業推進状況報告 3. 令和5年度目標及び推進計画・施策等について 他
”	6.3.12	◇第2回厚生委員会 <b>【協議・報告事項】</b> 1. 全法連厚生委員会報告 2. 令和5年度県連厚生事業推進状況報告 3. 受託三社の進捗状況について 他

会議名	開催年月日	議題等
県連講演会	6. 2. 20	◇テーマ 「アナウンサーが伝えるワークライフバランスと女性活躍」 講師 フリーアナウンサー 笠井 信輔 氏
《全法連》 第17回法人会全国 女性フォーラム (愛媛大会)	5. 4. 13	◇記念講演会 講師 俳人 夏井 いつき 氏 演 題 第一部「句会ライブ」 第二部「講評」 ◇式典 ◇小学生「税に関する絵はがき」展示 ◇懇親会
第39回全国大会 群馬大会	5. 10. 18	【大会】 1. 税制改正提言の報告 2. 大会宣言 他
第37回全国青年の集い 山形大会	5. 11. 10	【大会】 1. 全法連青連協連絡協議会・部会長サミット 2. 租税教育活動プレゼンテーション 3. 健康経営事例紹介 4. 大会式典・記念講演会・物産展 他 演 題：自らがリスクを取って挑戦する。だからこそ価値がある」 講 師：山中 大介 氏
事務局セミナー (リモート参加)	6. 3. 4	◇第 39 回事務局セミナー テーマ 「基礎からわかる公益法人の制度運営について」 講 師 (公財) 公益法人協会 理事 竹井 豊 氏
《九北連》 九北連定時総会	5. 8. 26	◇九北連定時総会 ◇九北連青年部会定時連絡協議会 ◇九北連女性部会定時連絡協議会
《その他》 新年賀詞交換会	6. 1. 5	◇2024 年武雄市「新年賀詞交歓会」参加

#### IV. 青年部会

会議名	開催年月日	議題等
第1回役員会	5. 4. 27	【報告・協議事項】 1. 令和 4 年事業活動報告 2. 令和 4 年度事業計画について 3. 定時大会開催について 4. 租税教育活動について 5. 任期満了に伴う役員改選と青年部会組織について 6. 保険会社受託三社の連絡協議会報告について
第2回役員会	5. 6. 19	【報告・協議事項】 1. 定時大会について 2. 地域社会貢献活動プロジェクト会合について 3. その他
定時大会	5. 6. 19	【報告・審議事項】 1. 令和 4 年度事業報告について 2. 令和 5 年度事業計画案について 3. 任期満了に伴う役員改選案承認について 4. その他 【交流会】
社会貢献活動 プロジェクトチーム会議	5. 7. 5	【令和 5 年度の事業計画について】 1. 愛の献血運動について 2. 納貯連による「中学生税の作文」募集等について 3. 租税教室開催及び税に関する絵はがきコンクールについて 4. アルモニア管弦楽団演奏会について
租税教育活動	5. 6. 1 5. 6. 5 5. 6. 6 5. 6. 15 5. 9. 27 5. 9. 15 5. 8. 21	◇租税教室 (朝日小学校) 6 年生 83 名 (轟小学校) 6 年生 25 名 (山内東小学校) 6 年生 35 名 (浜小学校) 6 年生 21 名 ◇税に関する絵はがきコンクール募集及び審査会 (4 校 96 点) ◇中学生税の作文審査会 (11 校応募) ◇租税教室講師養成研修会 (署主催)
税務研修会	5. 11. 8	◇合同税務研修会 「税を考える週間」 講 話 「税務行政の現状と課題」「税のよもやま話」 講 師 武雄税務署長 古川 博氏
社会貢献活動	5. 6. 23 5. 11. 19 5. 12. 6 5. 11. 20	◇愛の献血運動 (嬉野地区：嬉野市役所 嬉野庁舎にて) " (武雄地区：武雄物産まつり会場ケーブルワンスポーツパーク) " (鹿島地区：エイブルにて) * 詳細については、社会貢献活動に記載。 ◇税金の使われ方や税の大切さのお話 (青年部租税教育活動担当) アルモニア管弦楽団演奏会 朝日小学校 全校生徒 500 名 父兄他 9 名 御船が丘学校 3年・4年・5年 300 名 父兄他 2 名

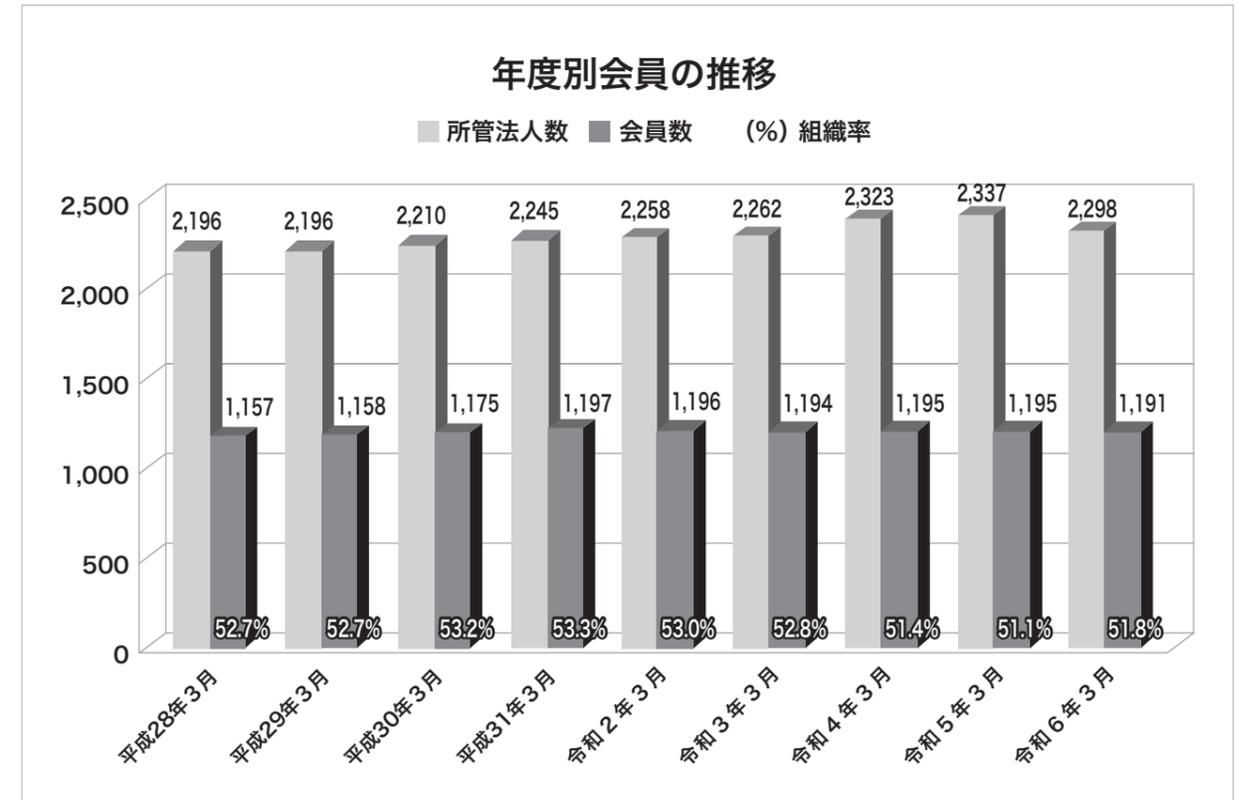
会 議 名	開催年月日	議 題 等
研修会	5.6.19 6.1.23	◇青年部会定時大会記念講演会 講 師 司法書士法人アドヴァンス 司法書士 土井大史氏 テーマ 「相続の手続きと新しい遺言遺言書制度について」 「相続登記の義務化について」 ◇青年部会視察研修・大同生命保険㈱との連絡協議会 「佐賀県立名護屋城博物館」唐津市鎮西町
部会員親睦交流会	5.7.19	◇青年部会員親睦ゴルフコンペ 若木ゴルフ倶楽部
《県連・九北連・他》 佐賀県青連協	5.7.13 6.2.14	青連協 第1回 役員会 1. 令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画案について 2. 任期満了に伴う役員改選案について 青連協 第2回 役員会 1. 租税教育活動次年度プレゼン実施単位会(鳥栖法人会)について 2. 第23回全国障害者スポーツ大会への協力要請について 他
九北連青連協	5.4.21 5.8.25	◇九州北部法人会連合会青連協租税教育勉強会 ◇九北連青年会連絡協議会 1. 令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画及び収支予算案について 2. 任期満了に伴う役員改選案承認について 他
《全法連》 第37回 全国青年の集い (山形大会)	5.11.9 ～10	【大会】 1. 全法連青連協連絡協議会 2. 租税教育活動プレゼンテーション・健康経営大賞 3. 部会長サミット 4. 大会式典・記念講演会・物産展 他 演 題：『自らがリスクを取って挑戦する。だからこそ価値がある』 講 師：ヤマガタデザイン(株)代表取締役 山中大介氏 5. 大懇親会

## V. 女性部会

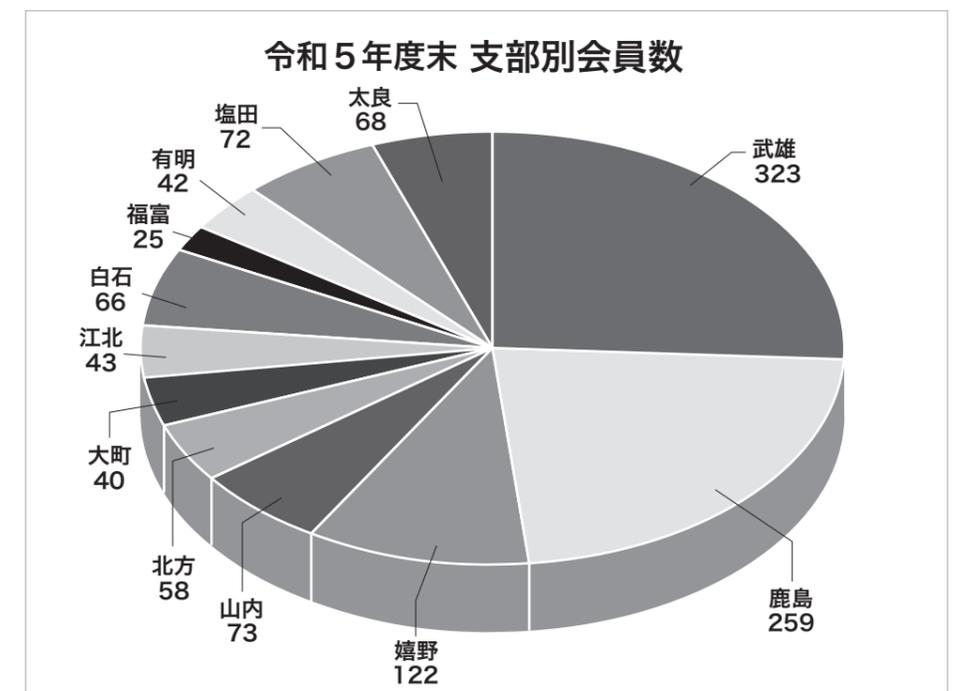
会 議 名	開催年月日	議 題 等
正副会長会議	5.5.9	【報告・協議事項】 1. 令和5年度定時大会について 2. 任期満了に伴う役員改選案について 3. 令和5年度事業計画案について 他
第1回役員会	5.5.24	【報告・協議事項】 1. 令和5年度定時大会に向けて 2. 令和4年度事業報告について 3. 令和5年度事業計画案について 4. 任期満了に伴う役員改選案承認について
第2回役員会	5.11.8	【報告・協議事項】 1. 佐賀県女連協連絡協議会役員会報告について 2. 令和5年度佐賀県女連協研修会及び親睦会開催について 3. 令和5年度事業活動について 4. 女性部会視察研修及び親睦会開催について 他
定時大会	5.6.16	令和5年度女性部会定時大会 報告事項 ①令和4年度事業報告 協議事項 ①令和5年度事業計画案承認の件 ②任期満了に伴う役員改選案承認の件
社会貢献活動 プロジェクトチーム会議	5.7.5	【令和5年度事業計画】 1. 愛の献血運動実施について 2. 納貯連による「中学生税の作文」募集等について 3. 租税教室開催及び税に関する絵はがきコンクール実施について 4. アルモニア管弦楽団演奏会実施について 他
租税教育活動	5.9.27 5.11.6 5.11.14 5.11.20 5.12.11 5.9.15	◇税に関する絵はがきコンクール募集及び審査会 (4校 96点) ◇表彰式 (浜小学校) 6年生 21名 (轟小学校) 6年生 25名 (朝日小学校) 6年生 83名 (山内東小学校) 6年生 35名 * 展示場所(武雄税務署・各学校 校内・公共施設等) ◇中学生「税に関する作文コンクール」審査会 (11校 742編応募)
税務研修会	5.11.8	◇合同税務研修会 「税を考える週間」 講 話 「税務行政の現状と課題」「税のよもやま話」 講 師 武雄税務署長 古川 博氏
社会貢献活動	5.6.23 5.11.19 5.12.6 5.11.20	◇愛の献血運動 (嬉野地区：嬉野市役所 嬉野庁舎にて) " (武雄地区：武雄物産まつり会場 ケーブルワンスポーツパーク) " (鹿島地区：エイブルにて) * 詳細については、社会貢献活動に記載。 ◇税金の使い方や税の大切さのお話 (青年部租税教育活動担当) アルモニア管弦楽団演奏会 朝日小学校 全校生徒 500名 父兄他 9名 御船が丘学校 3年・4年・5年 300名 父兄他 2名

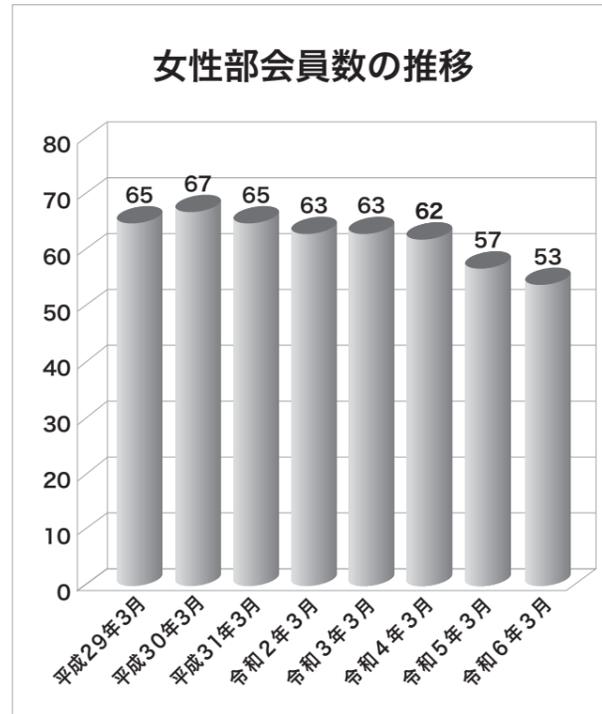
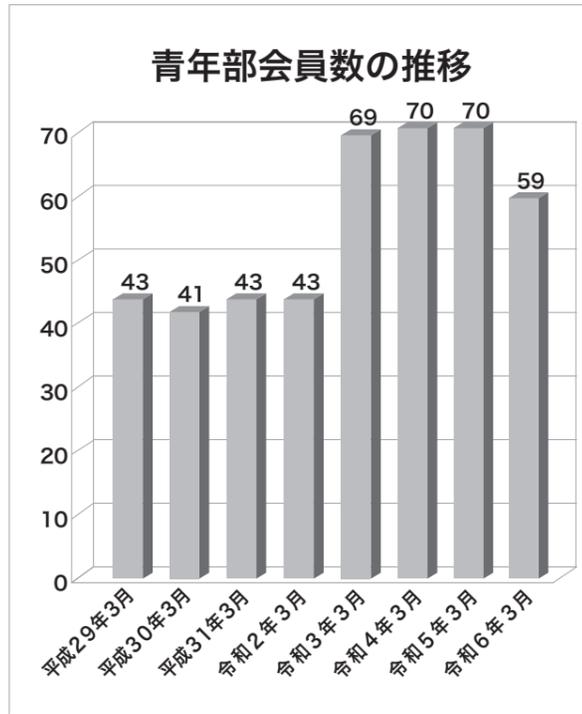
会議名	開催年月日	議題等
研修会・交流会	5.6.16	◇女性部会定時大会記念公開講演会 テーマ「人生100年時代の過ごし方」 講師 学校法人 旭学園 理事長 内田信子氏
《県連》 定時大会・役員会 (県女連協)	5.7.20	◇定時大会 ①令和4年度事業報告及び収支決算報告 ②令和5年度事業計画案及び収支予算案承認の件 ③任期満了に伴う役員改選案承認の件 他
役員会	5.7.20	◇第1回役員会 ①全法連女性部会連絡協議会役員会報告 ②令和5年度事業計画について
”	5.10.20	◇第2回役員会 ①令和5年度佐賀県女連協研修会開催について 他
”	6.1.24	◇第3回役員会 ①令和5年度佐賀県女連協研修会進行等について ②食品ロスについての講話 他
佐賀県女連協研修会	6.2.20	◇講演会 テーマ「私とテレビとナイショ話」 講師 フリーアナウンサー 笠井信輔氏
《九北連》 定時大会・役員会	5.8.25	◇九州北部女連協連絡協議会定時大会
《全法連》 第17回全国法人会 女性フォーラム (愛媛大会)	5.4.13	◇記念講演会 講師 俳人 夏井いつき氏 演題 第一部「句会ライブ」 第二部「講評」 ◇式典 ◇小学生「税に関する絵はがき」展示 ◇懇親会

## VI. 会員・福利厚生制度の状況

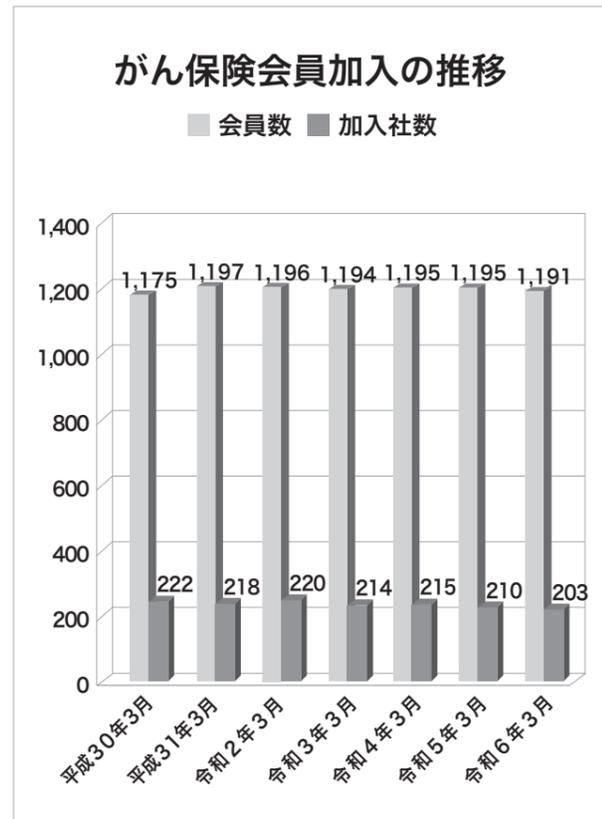


支部名	会員数
武雄	323
鹿島	259
嬉野	122
山内	73
北方	58
大町	40
江北	43
白石	66
福富	25
有明	42
塩田	72
太良	68
合計	1,191





## Ⅶ. 福利厚生制度の推移



【令和6年3月22日第4回理事会資料】 第1号議案

# 令和6年度事業計画書



めざします  
企業の繁栄と  
社会への貢献

元気な法人会をめざす

公益社団法人 武雄法人会

# 令和6年度 公益社団法人武雄法人会事業計画

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

## I. 事業目的 (理念)

武雄法人会は、  
税のオピニオンリーダーとして、公益性を重視しつつ  
よりよき経営者をめざすものの団体として  
会員の積極的な自己啓発を支援し  
納税意識の向上と、企業経営および地域社会の  
健全な発展に貢献します

## II. 基本方針

公益社団法人として、その社会的な責任を全うすることを大きな柱として、 税務行政当局と連携して、健全かつ積極的な納税に資する経営者の団体として、会員はもとより、広く管内法人企業の自己啓発活動を支援し、併せて広く地域住民への社会貢献活動を推進していく。

具体的には、

1. 税務当局との協調性を保ちつつ、公正な税制と円滑な税務行政に寄与する。
2. 税務コンプライアンス及び税務知識の普及向上と、納税意識の高揚に資する啓蒙・顕彰・教育文化・研修活動を行う。
3. 管内法人企業のよりよき経営のためのセミナー・研修や、公開講演会等活動、大衆向けコンサート等を開催する。また従業員を含めた福利厚生制度の充実をサポートする。
4. 法人会組織の基盤拡充のため会員のビジネスチャンス創出のサポート、福利厚生事業の推進、ゴルフコンペ、異業種交流会等、会員同士の親睦・交流の機会を創設して、身近な法人会としてのイメージアップを図り、併せて会員の増強を積極的に図る。
5. 愛の献血運動等を通じて、地域社会への幅広い貢献活動を行う。
6. 青年部会、女性部会の活性化を図り、法人会組織の活発な活力源とする。
7. 上記活動内容をホームページ・会報等により広報し法人会への理解を内外に深めさせる。

総じて、

以上の法人会活動を会員はもとより、一般市民にも判り易くアピールしつつ、且つ、もっと身近な存在に近づけて、社会的な認知度を高め、延いては会員増強にも繋げ、地元貢献度をアップさせ、併せて武雄法人会の組織を未来に向けて、盤石なものにしていきたい。

## III. 事業計画

### 公益目的事業

#### 1, 適正な申告納税や税制全般並びに税務行政に関する調査研究及び提言活動を行う。

- (1) 令和7年度税制改正に関するアンケート調査の実施
- (2) 令和7年度税制改正に関する要望事項の検討・討議と策定
- (3) 税制改正提言活動の実施(武雄・嬉野・鹿島の各市長、市議会議員宛)

#### 2, 税知識の普及と納税意識の高揚を目的とする事業を行う。

- (1) 次世代を担う児童・生徒に対しての税知識の普及に関して
  - ① 納税啓発冊子「タックスファンドとケンタくん」の児童への配布
  - ② 小学校高学年を対象にした「租税教室」の実施
  - ③ 小学校高学年を対象とした「税に関する絵はがきコンクール」の実施
  - ④ 中学生を対象にした「税に関する作文コンクール」開催のサポート
- (2) 税務コンプライアンスと納税意識の高揚により税務実務面からも税知識を深め、以て税務行政の円滑化を図る目的の事業に関して
  - ① 決算を迎える企業に対して四半期毎に決算事務説明会を開催する。
  - ② 新たに創設された新設法人に対する企業会計及び法人会の説明会を開催する。
  - ③ 全法人を対象とした税制改正説明会等の開催
  - ④ 税を考える週間(毎年11月11日～11月17日)における公開講演会の実施
  - ⑤ 税を考える週間に行う女性部会・青年部会に対する研修会(税務署長による税に関する講話会の開催)
  - ⑥ 当会が開催する各説明会において、広く税務知識と納税意識の高揚を図る。
  - ⑦ 支部研修会について一般参加も推奨して幅広く税務と経営に関するコンプライアンスチェックシートのスキルアップを図る。
  - ⑧ e-Taxのさらなる普及、消費税アップに伴う軽減税率その他税知識の向上について、会報誌やホームページで啓蒙活動を行う。年に2回発行する会報誌「ほうじん武雄」、(発行部数2100冊)、年4回発行の全法連広報誌「ほうじん」、(発行部数1600冊)において、関連記事の掲載を行う。
  - ⑨ その他種々の機会を通じて国税庁監修の税務コンプライアンスチェックシートの普及と利用促進に努める。

#### 3, 地域企業の健全な発展に寄与する事業

企業内における実務レベルでのスキルアップを図るための支援事業を開催する。

- (1) 新社会人セミナーの実施 新入社員に対して税知識の向上を図るほか、社会人としての接遇マナー等を教え、企業の人材教育の補完を行う。
- (2) パソコン等研修会の実施 ビジネスツールとしてのパソコン・タブレット端末等を自由に使いこなすための実践的な講習会を開催して参加者のITスキルアップを図る。
- (3) 経営者向けのセミナーを開催する。

#### 4, 地域社会の繁栄に資する事業

- (1) 政治経済情勢等の時局をテーマにした学識経験者・ジャーナリスト・著名人等による有益な講演会を開催し、会員はもとより、一般市民をも含む幅広い参加を呼びかける。なお青年部会・女性部会でも同様に公開講演会を開催する。
- (2) セミプロのクラシック音楽集団「アルモニア管弦楽団」の演奏会を管内の小中学校2校で開催し、一般の人も含めてのコンサートを開催している。演奏会前には、税にまつわる講話を法人会青年部員により行うことにより、児童・生徒の税知識の向上を図る活動も行っている。今年度は11月に小学校、中学校の2校で開催予定である。
- (3) 新作カレンダーを会員企業から提供して頂き、佐賀市で例年開催される年末助け合いバザー

に出品、収益金を佐賀県共同募金協会（赤い羽根募金）に全額寄付を行う。

- (4) 地元の企業、ライオンズクラブ、ソロプチミスト、薬剤師会等と連携して、愛の献血運動を実施する。開催地は武雄市・嬉野市・鹿島市の管内三市で、合計350名の採血を目標に行う。採血者には武雄法人会からボックスティッシュ・お菓子・新米などのお礼の粗品を進呈する。
- (5) 管内公共施設等への備品の寄贈  
地域の公共施設等へ必要な備品を寄贈し、一般市民の生活に役立てる。

## 収益等事業

### 1, 会員のための福利厚生を支援する保険事業、会社を保全する保証制度の普及推進を図る事業を積極的に推進する。

- (1) 経営者大型総合保障制度の普及推進を図る。
- (2) ビジネスガードの普及推進を図る。
- (3) がん保険・医療保険制度の普及推進を図る。
- (4) 県連主管の貸倒保証制度（取引信用保険）の普及推進を図る。
- (5) 規定に従い功労者に対する表彰事業を行う。  
会員企業の福利厚生の充実と関係団体の社業推進は当法人会にとっても密接不可分な関係にあり、紹介や帯同訪問をするなど積極的な推進支援を行っていききたい。

### 2, 会員支援のための親睦・交流等に関する事業

- (1) 会員親睦・交流に関する事業
  - ① 武雄税務署管内における広域の異業種交流会を開催する。（年1回）
  - ② 法人会における会員親睦交流のためのゴルフコンペを開催する。（年1回）
  - ③ 青年部会・女性部会の管外視察研修を行う。
  - ④ 総会終了後、「会員の集い」を開催し、情報交換と懇親を深める。
  - ⑤ 支部研修会を実施した後、一般参加者も含め引き続き昼食会や懇親会を開催し入会の勧奨や親睦を図る。

特に、法人会の果たす役割として、管内企業間の密接な交流による地域内付加価値の創出と地域活性化は重要なテーマとして認識、さらなる親睦交流を深める機会を創設することとして、上記①から⑤を従来の枠内事業として付加したが軌道に乗ってきた。

- (2) 会員増強に関する事業
  - ① 会員増強運動の実施  
毎年9月から12月の間、会員増強運動を実施して増強に努めているが、新年度も積極的に展開する。昨年度は10年連続して会員増加を果たし、全国でも上位に入る快挙で、今年度も純増目標とする。
  - ② 支部役員会の開催  
10支部の役員会においてブロック毎に会員増強について協議を行い、情報交換と勧奨活動を深める。
  - ③ 増強についてのインセンティブ 会員増強功労者に対して表彰を行う。  
会員増強については、平成10年6月末の会員数1,617社より約411社の減少をみていることから、増加に転じた平成26年度以降に続き今期も11年連続で純増を図るべく積極的にアプローチしていくが、流通構造の変化から後継者不足も相俟って、小売業を中

心として廃業される法人も数多く、当会の将来も見据えて危機感を持って獲得に動きたい。

また年二回発行している会報についても身近な記事を掲載して、写真を増やし親しみやすい誌面作りをすることにより、当会の活動を広くアピールして、会員増強に繋げていく。

また会員増強を所管する組織委員会において、増強に効果をあげている法人会への視察研修活動を行う。

## その他の事業

### 1, 大会・会議等への参加を通して法人会事業の充実発展に努める

- ① 全法連全国大会への参加（10月3日鹿児島市で開催）
- ② 「全国青年の集い」福井大会への参加（11月7日～8日福井市で開催）
- ③ 女性部会員の「全国女性フォーラム」への参加（4月18日広島市で開催）
- ④ 九法連、県法連の定時総会への参加
- ⑤ 上記④に付随する委員会、部会会議、視察研修等への参加
- ⑥ 県連主催のインターネットで配信される各種セミナー・講演会の動画を会員・非会員の区別なく、リアルタイムで閲覧できるサービス「ビジネスオンデマンド」を継続していく。
- ⑦ 武雄間税会が主催する「間税研修会・利き酒の会」について後援サポートする。

### 2, 会務運営管理と効率化について

公益社団法人としての事業の健全且つ円滑な運営に向けて、内部統制とガバナンスの強化に努めると共に、事務局運営の合理化と効率化を図る。

- ① 諸会議
  - i、定時総会
  - ii、正副会長会議・理事会
  - iii、各委員会（総務・研修・厚生・広報・税制・組織）
  - iv、青年部会、部会長・副部会長会議、役員会（定時大会を含む）社会貢献プロジェクト委員会、租税教育委員会、研修・親睦委員会
  - v、女性部会、部会長・副部会長会議、役員会（定時大会を含む）社会貢献プロジェクト委員会
  - vi、支部役員会・支部研修会
- ② 事務局会議
  - i、全法連事務局研修会
  - ii、県連事務局会議、女性職員事務情報交換会
  - iii、上記に付随する研修会及び会議

以上

令和6年3月22日

令和6年度収支予算【令和6年3月22日 第4回理事会承認】

# 令和6年度 収支予算書（総括表）

自 令和6年4月1日 ～ 至 令和7年3月31日まで

（単位：円）

科 目	本年度予算	前年度予算	増 減	備 考
<b>I. 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
<b>基本財産運用益</b>	160	200	△ 40	
基本財産受取利息	160	200	△ 40	基本財産500万円に対する預金利息
<b>特定資産運用益</b>	150	200	△ 50	
特定資産受取利息	150	200	△ 50	特定預金利息
<b>受取会費</b>	8,230,000	8,400,000	△ 170,000	
正会員受取会費	8,070,000	8,220,000	△ 150,000	年会費収入
賛助会員受取会費	160,000	180,000	△ 20,000	" (支店・個人) 会費収入
<b>事業収益</b>	780,000	880,000	△ 100,000	
研修事業収益	0	0	0	
広報事業収益	80,000	80,000	0	広報誌の掲載広告料(保険受託3社)
会員親睦事業収益	700,000	800,000	△ 100,000	会員の集い、交流コンベ他
<b>受取補助金</b>	15,140,200	14,627,900	512,300	
受取全法連補助金振替額	13,570,200	13,557,900	12,300	全法連より(公益事業費として)
受取県連補助金	1,570,000	1,070,000	500,000	県連より補助金(内公開講演会補助 60万円)
<b>受取負担金</b>	327,000	381,000	△ 54,000	
青年・女性部会負担金	327,000	381,000	△ 54,000	青年・女性部会年会費収入
<b>雑収益</b>	650,050	700,050	△ 50,000	
受取利息	50	50	0	預金利息
雑収益	650,000	700,000	△ 50,000	厚生・組織部門褒賞金及び会議時当日会費等
<b>経常収益計</b>	25,127,560	24,989,350	138,210	
<b>(2) 経常費用</b>				
<b>1. 事業費</b>	18,970,600	19,437,560	△ 466,960	
役員報酬	3,363,000	3,363,000	0	(従事割合)
給与手当	2,492,800	2,672,160	△ 179,360	(従事割合)
福利厚生費	988,000	988,000	0	職員法定福利費他(従事割合)
会議費	1,900,000	1,850,000	50,000	研修・税制・組織・厚生委員会・青年・女性部会等
旅費交通費	1,810,000	1,882,000	△ 72,000	業務に係る旅費・講師旅費(従事割合)
通信運搬費	1,080,000	1,004,000	76,000	各種研修会案内・資料送付等(従事割合)
消耗品費	304,000	304,000	0	コピー用紙・トナー代・封筒他(従事割合)
水道光熱費	152,000	152,000	0	事務所に係る電気・水道料他(従事割合)
図書印刷費	800,000	710,000	90,000	研修案内状・資料印刷等
広報誌発行費	912,000	760,000	152,000	広報誌発行印刷等(従事割合)
諸謝金	2,300,000	2,500,000	△ 200,000	講演会・パソコンセミナー・支部研修会等
事務委託費	68,400	68,400	0	商工会等への業務委託費(従事割合)
会場費	290,000	340,000	△ 50,000	講演会・研修会等に係る会場料等
広告宣伝費	22,800	38,000	△ 15,200	広報費用・看板(従事割合)
記念品費	1,150,000	1,400,000	△ 250,000	各事業に係る記念品・粗品等
リース料	570,000	570,000	0	コピー機・パソコン他のリース料(従事割合)

科 目	本年度予算	前年度予算	増 減	備 考
賃借料	516,800	532,000	△ 15,200	事務所・駐車場の賃借料(従事割合)
修繕費	22,800	38,000	△ 15,200	(従事割合)
支払手数料	152,000	190,000	△ 38,000	会費自振手数料・振込手数料他(従事割合)
雑費	76,000	76,000	0	ジャンパークリーニング代他(従事割合)
<b>2. 管理費</b>	<b>6,254,400</b>	<b>6,053,440</b>	<b>200,960</b>	
役員報酬	1,062,000	1,062,000	0	(従事割合)
給料手当	787,200	843,840	△ 56,640	(従事割合)
福利厚生費	312,000	312,000	0	(従事割合)
会議費	1,000,000	850,000	150,000	総会・理事会・委員会等
旅費交通費	590,000	468,000	122,000	全国大会・青年の集い・女性フォーラム・理事会
通信運搬費	300,000	246,000	54,000	(従事割合)
消耗品費	96,000	96,000	0	(従事割合)
水道光熱費	48,000	48,000	0	(従事割合)
図書印刷費	200,000	200,000	0	総会議案書・総会葉書印刷代等
広報誌発行費	288,000	240,000	48,000	(従事割合)
諸謝金	350,000	350,000	0	委託税理士報酬
支払負担金	500,000	500,000	0	県連への年会費・青年・女性部会等
事務委託費	21,600	21,600	0	(従事割合)
会場費	120,000	150,000	△ 30,000	総会・理事会・諸会議に係る会場費
広告宣伝費	7,200	12,000	△ 4,800	(従事割合)
渉外慶弔費	50,000	100,000	△ 50,000	役員等の慶弔費
記念品費	0	10,000	△ 10,000	税の作文コンクール高校生への副賞
リース料	180,000	180,000	0	(従事割合)
賃借料	163,200	168,000	△ 4,800	(従事割合)
修繕費	7,200	12,000	△ 4,800	(従事割合)
支払手数料	48,000	60,000	△ 12,000	(従事割合)
雑費	124,000	124,000	0	(従事割合)
<b>経常費用計</b>	<b>25,225,000</b>	<b>25,491,000</b>	<b>△ 266,000</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 97,440</b>	<b>△ 501,650</b>	<b>404,210</b>	
<b>2. 経常外増減の部</b>				
<b>(1) 経常外収益</b>				
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>(2) 経常外費用</b>				
法人税及び住民税	0	0	0	
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 97,440</b>	<b>△ 501,650</b>	<b>404,210</b>	
一般正味財産期首残高	11,954,087	13,311,233	△ 1,357,146	
一般正味財産期末残高	11,856,647	12,809,583	△ 952,936	
<b>II. 指定正味財産増減の部</b>				
<b>受取補助金等</b>	<b>13,570,200</b>	<b>13,557,900</b>	<b>12,300</b>	
受取全法連助成金	13,570,200	13,557,900	12,300	
<b>一般正味財産への振替額</b>	<b>△ 13,570,200</b>	<b>△ 13,557,900</b>	<b>△ 12,300</b>	
一般正味財産への振替額	△ 13,570,200	△ 13,557,900	△ 12,300	
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
<b>III. 正味財産期末残高</b>	<b>11,856,647</b>	<b>12,809,583</b>	<b>△ 952,936</b>	

# 令和6年度 収支予算内訳表

自 令和6年4月1日～至 令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	合 計		
	公 1	公 2	共 通	小 計	他 1	他 2			共 通	小 計
<b>I. 一般正味財産増減の部</b>										
<b>1. 経常増減の部</b>										
<b>(1) 経常収益</b>										
基本財産運用利益	0	0	160	160	0	0	0	160		
基本財産受取利息	0	0	160	160	0	0	0	160		
特定資産運用利益	0	0	50	50	0	0	0	100		
特定資産受取利息	0	0	50	50	0	0	0	100		
受取会費	0	0	823,000	823,000	0	0	2,469,000	2,469,000		
正会員受取会費	0	0	807,000	807,000	0	0	2,421,000	2,421,000		
賛助会員受取会費	0	0	16,000	16,000	0	0	48,000	48,000		
事業収益	36,800	18,400	0	55,200	800	704,800	19,200	780,000		
研修事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0		
広報事業収益	36,800	18,400	0	55,200	800	4,800	19,200	80,000		
会員親睦事業収益	0	0	0	0	0	700,000	0	700,000		
受取補助金等	600,000	0	13,570,200	14,170,200	0	0	0	970,000		
受取全法連補助金振替額	0	0	13,570,200	13,570,200	0	0	0	13,570,200		
受取県連補助金	600,000	0	0	600,000	0	0	0	970,000		
受取負担金	0	0	0	0	0	327,000	0	327,000		
青年女性部会負担金	0	0	0	0	0	327,000	0	327,000		
雑収益	0	0	0	0	50,000	300,000	300,050	650,050		
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	50		
雑収益	0	0	0	0	50,000	300,000	300,000	650,000		
経常収益計	636,800	18,400	14,393,410	15,048,610	50,800	1,331,800	6,227,350	25,127,560		
<b>(2) 経常費用</b>										
事業費	9,975,100	5,592,550	0	15,567,650	206,850	3,196,100	0	3,402,950		
役員報酬	2,035,500	1,017,750	0	3,053,250	44,250	265,500	0	3,099,750		
給与手当	1,508,800	754,400	0	2,263,200	32,800	196,800	0	2,299,600		
福利厚生費	598,000	299,000	0	897,000	13,000	78,000	0	919,000		
会議費	250,000	150,000	0	400,000	0	1,500,000	0	1,900,000		
旅費交通費	710,000	380,000	0	1,090,000	20,000	700,000	0	1,810,000		
通信運搬費	730,000	265,000	0	995,000	5,000	80,000	0	1,080,000		
消耗品費	184,000	92,000	0	276,000	4,000	24,000	0	304,000		
水道光熱費	92,000	46,000	0	138,000	2,000	12,000	0	152,000		
図書印刷費	650,000	150,000	0	800,000	0	0	0	800,000		
広報誌発行費	552,000	276,000	0	828,000	12,000	72,000	0	912,000		
諸謝金	1,300,000	1,000,000	0	2,300,000	0	0	0	2,300,000		
事務委託費	41,400	20,700	0	62,100	900	5,400	0	68,400		
会場費	150,000	130,000	0	280,000	5,000	5,000	0	290,000		
広告宣伝費	13,800	6,900	0	20,700	300	1,800	0	22,800		
記念品費	350,000	600,000	0	950,000	50,000	150,000	0	1,150,000		
リース料	345,000	172,500	0	517,500	7,500	45,000	0	570,000		
賃借料	312,800	156,400	0	469,200	6,800	40,800	0	516,800		
修繕費	13,800	6,900	0	20,700	300	1,800	0	22,800		
支払手数料	92,000	46,000	0	138,000	2,000	12,000	0	152,000		
雑費	46,000	23,000	0	69,000	1,000	6,000	0	76,000		
管理費	0	0	0	0	0	0	6,254,400	6,254,400		
役員報酬	0	0	0	0	0	0	1,062,000	1,062,000		
給与手当	0	0	0	0	0	0	787,200	787,200		
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	312,000	312,000		
会議費	0	0	0	0	0	0	1,000,000	1,000,000		
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	590,000	590,000		
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	300,000	300,000		
消耗品費	0	0	0	0	0	0	96,000	96,000		
水道光熱費	0	0	0	0	0	0	48,000	48,000		
図書印刷費	0	0	0	0	0	0	200,000	200,000		
広報誌発行費	0	0	0	0	0	0	288,000	288,000		
諸謝金	0	0	0	0	0	0	350,000	350,000		
支払負担金	0	0	0	0	0	0	500,000	500,000		
事務委託費	0	0	0	0	0	0	21,600	21,600		
会場費	0	0	0	0	0	0	120,000	120,000		
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	7,200	7,200		
渉外慶弔費	0	0	0	0	0	0	50,000	50,000		
記念品費	0	0	0	0	0	0	0	0		
リース料	0	0	0	0	0	0	180,000	180,000		
賃借料	0	0	0	0	0	0	163,200	163,200		
修繕費	0	0	0	0	0	0	7,200	7,200		
支払手数料	0	0	0	0	0	0	48,000	48,000		
雑費	0	0	0	0	0	0	124,000	124,000		
経常費用計	9,975,100	5,592,550	0	15,567,650	206,850	3,196,100	6,254,400	25,225,000		
当期経常増減額	△ 9,338,300	△ 5,574,150	14,393,410	△ 519,040	△ 156,050	△ 1,864,300	△ 27,050	△ 97,440		
<b>2. 経常外増減の部</b>										
<b>(1) 経常外収益</b>										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0		
<b>(2) 経常外費用</b>										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0		
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0		
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0		
当期一般正味財産増減額	△ 9,338,300	△ 5,574,150	14,393,410	△ 519,040	△ 156,050	△ 1,864,300	2,469,000	△ 97,440		
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	-	-	-	11,954,087		
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-	-	11,856,647		
<b>II. 指定正味財産増減の部</b>										
受取補助金等	0	0	13,570,200	13,570,200	0	0	0	13,570,200		
受取全法連助成金	0	0	13,570,200	13,570,200	0	0	0	13,570,200		
一般正味財産への振替額	0	0	△ 13,570,200	△ 13,570,200	0	0	0	△ 13,570,200		
一般正味財産への振替額	0	0	△ 13,570,200	△ 13,570,200	0	0	0	△ 13,570,200		
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0		
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	-	-	0		
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-	-	0		
<b>III. 正味財産期末残高</b>										
正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-	-	11,856,647		

公1：税知識の普及を目的とする事業、納税知識の高揚を目的とする事業、税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業

公2：地域企業の健全な発展を目的とする事業、地域社会への貢献を目的とする事業

他1：会員のための福利厚生事業

他2：会員支援のための親睦・交流に関する事業

## 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I. 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金	31,232	14,175	17,057
預 金	4,867,379	4,606,906	260,473
【流動資産合計】	<b>4,898,611</b>	<b>4,621,081</b>	<b>277,530</b>
<b>2. 固定資産</b>			
(1)基本財産			
定期預金	5,000,000	5,000,000	0
【基本財産合計】	<b>5,000,000</b>	<b>5,000,000</b>	<b>0</b>
(2)特定資産			
退職給付引当資産	0	0	0
周年行事引当資産	2,200,000	2,200,000	0
減価償却引当資産	268,746	268,746	0
【特定資産合計】	<b>2,468,746</b>	<b>2,468,746</b>	<b>0</b>
【固定資産合計】	<b>7,468,746</b>	<b>7,468,746</b>	<b>0</b>
【資産合計】	<b>12,367,357</b>	<b>12,089,827</b>	<b>277,530</b>
<b>II. 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
預り金	232,082	135,740	96,342
【流動負債合計】	<b>232,082</b>	<b>135,740</b>	<b>96,342</b>
<b>2. 固定負債</b>			
退職給付引当金	0	0	0
【固定負債合計】	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
【負債合計】	<b>232,082</b>	<b>135,740</b>	<b>96,342</b>
<b>III. 正味財産の部</b>			
<b>1. 一般正味財産</b>			
(うち基本財産への充当額)	12,135,275	11,954,087	181,188
(うち特定資産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
【正味財産合計】	<b>12,135,275</b>	<b>11,954,087</b>	<b>181,188</b>
【負債及び正味財産合計】	<b>12,367,357</b>	<b>12,089,827</b>	<b>277,530</b>

※付属明細書は財務諸表の注記に記載しているので省略

# 令和5年度 正味財産増減計算書（総括表）

自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
<b>I. 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
<b>基本財産運用益</b>	260	260	0	
基本財産受取利息	260	260	0	500万円に対し預金利息
<b>特定資産運用益</b>	161	161	0	
特定資産受取利息	161	161	0	特定預金利息
<b>受取会費</b>	7,912,000	7,904,000	8,000	
正会員受取会費	7,744,000	7,743,000	1,000	年会費収入
賛助会員受取会費	168,000	161,000	7,000	"
<b>事業収益</b>	769,000	1,527,000	△ 758,000	
広報事業収益	80,000	80,000	0	広告料
会員親睦事業収益	671,000	1,447,000	△ 776,000	会員交流会費
研修事業収益	18,000	0	18,000	テキスト代
<b>受取補助金</b>	14,777,900	14,883,800	△ 105,900	
受取県連補助金	700,000	680,000	20,000	全法連より補助金
受取全法連助成金振替額	13,557,900	13,703,800	△ 145,900	全法連より助成金
受取全法連補助金	520,000	500,000	20,000	県連より補助金
<b>受取負担金</b>	309,000	333,000	△ 24,000	
青年・女性部会負担金	309,000	333,000	△ 24,000	青年・女性部会年会費
<b>雑収益</b>	1,027,664	705,065	322,599	
受取利息	64	65	△ 1	預金利息
雑収益	1,027,600	705,000	322,600	厚生・研修・組織部門費賞金・祝金・会議時当日会費等
<b>経 常 収 益 計</b>	24,795,985	25,353,286	△ 557,301	
<b>(2) 経常費用</b>				
<b>1. 事業費</b>	17,843,286	19,889,388	△ 2,046,102	(従事割合)公益事業：69%・収益事業：7%
役員報酬	3,363,000	3,363,000	0	(従事割合)専務理事
給料手当	2,686,749	2,671,549	15,200	(従事割合)職員
福利厚生費	939,260	1,050,690	△ 111,430	職員法定福利費他 (従事割合)
会議費	2,159,809	2,171,296	△ 11,487	委員会・研修会・公開講演会・会員交流会他
旅費交通費	1,101,254	2,512,803	△ 1,411,549	業務に係る旅費・講師旅費(直接費・従事割合)
通信運搬費	897,671	902,040	△ 4,369	研修案内等に係る通信費(直接費・従事割合)
消耗品費	285,068	325,219	△ 40,151	コピー用紙・封筒・備品他(従事割合)
水道光熱費	149,943	152,244	△ 2,301	事務所に係る公共費用(従事割合)
図書印刷費	701,073	540,167	160,906	各種案内印刷・資料等印刷・研修用冊子
広報誌発行費	805,810	739,415	66,395	広報誌発行に係る費用(従事割合)
諸謝金	1,971,535	2,575,802	△ 604,267	研修会・講演会等講師に対する謝礼金
支払負担金	0	0	0	各種団体等共催事業に係る負担金(令和5年度公益該当無)
事務委託費	45,600	68,400	△ 22,800	商工会等への委託費(従事割合)
会場費	286,221	371,095	△ 84,874	研修会・講演会等に係る会場費・設備費用
記念品費	1,053,914	994,325	59,589	各事業に関する記念品・粗品等
広告宣伝費	5,092	0	5,092	野立て看板等補修及び許可書申請等(従事割合)
リース料	549,756	564,479	△ 14,723	コピー機・パソコン他のリース料(従事割合)
賃借料	511,632	511,632	0	事務所・駐車場等の賃借料(従事割合)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
支払手数料	186,804	217,504	△ 30,700	会費振手数料・銀行振込手数料他(直接費・従事割合)
雑費	143,095	157,728	△ 14,633	他(直接費・従事割合)
<b>2. 管理費</b>	<b>6,771,511</b>	<b>6,821,044</b>	<b>△ 49,533</b>	(従事割合) 法人会計：24%
役員報酬	1,062,000	1,062,000	0	(従事割合)
給料手当	848,447	843,647	4,800	(従事割合)
福利厚生費	296,608	331,797	△ 35,189	(従事割合)
会議費	1,540,592	1,246,244	294,348	各種会議等会員交流会他
旅費交通費	581,056	734,347	△ 153,291	(直接費・従事割合)
通信運搬費	239,517	292,427	△ 52,910	(直接費・従事割合)
消耗品費	90,021	102,701	△ 12,680	(従事割合)
水道光熱費	47,350	48,077	△ 727	(従事割合)
図書印刷費	209,930	236,065	△ 26,135	(従事割合)
広報誌発行費	254,466	233,499	20,967	(従事割合)
諸謝金	362,858	320,000	42,858	顧問税理士報酬
支払負担金	488,900	482,700	6,200	県連会費(親会・青年・女性部会含む)他
事務委託費	14,400	21,600	△ 7,200	(従事割合)
会場費	55,429	99,025	△ 43,596	総会・諸会議に係る会場費
記念品費	0	0	0	高校生作文コンクール
渉外慶弔費	35,463	101,888	△ 66,425	役員等の慶弔費
広告宣伝費	1,608	0	1,608	(従事割合)
リース料	173,607	178,257	△ 4,650	(従事割合)
賃借料	161,568	161,568	0	(従事割合)
支払手数料	58,991	68,686	△ 9,695	(直接費・従事割合)
雑費	248,700	256,516	△ 7,816	公益会計ソフト料他(従事割合)
<b>経 常 費 用 計</b>	<b>24,614,797</b>	<b>26,710,432</b>	<b>△ 2,095,635</b>	
<b>当 期 経 常 増 減 額</b>	<b>181,188</b>	<b>△ 1,357,146</b>	<b>1,538,334</b>	
<b>2. 経常外増減の部</b>				
<b>(1) 経常外収益</b>				
<b>経 常 外 収 益 計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>(2) 経常外費用</b>				
<b>経 常 外 費 用 計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
当期経常外増減額	0	0	0	
<b>当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額</b>	<b>181,188</b>	<b>△ 1,357,146</b>	<b>1,538,334</b>	
一般正味財産期首残高	11,954,087	13,311,233	△ 1,357,146	
一般正味財産期末残高	12,135,275	11,954,087	181,188	
<b>II. 指定正味財産増減の部</b>				
<b>受取補助金等</b>	<b>13,557,900</b>	<b>13,703,800</b>	<b>△ 145,900</b>	
受取全法連助成金	13,557,900	13,703,800	△ 145,900	
<b>一般正味財産への振替額</b>	<b>△ 13,557,900</b>	<b>△ 13,703,800</b>	<b>145,900</b>	
一般正味財産への振替額	△ 13,557,900	△ 13,703,800	145,900	
<b>当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
<b>III. 正味財産期末残高</b>	<b>12,135,275</b>	<b>11,954,087</b>	<b>181,188</b>	

# 令和5年度 正味財産増減計算書内訳表

自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日まで

(単位：円)

## 【公益事業費割合 59.8%】

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	合 計
	公 1	公 2	共 通	小 計	他 1	他 2		
<b>I. 一般正味財産増減の部</b>								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用利益	0	0	260	260	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	260	260	0	0	0	0
特定資産運用利益	0	0	0	0	0	0	161	161
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	161	161
<b>受取会費</b>	0	0	791,200	791,200	0	0	2,373,600	7,912,000
正会員受取会費	0	0	774,400	774,400	0	0	2,323,200	7,744,000
賛助会員受取会費	0	0	16,800	16,800	0	0	50,400	168,000
<b>事業収益</b>	36,800	36,400	0	73,200	800	675,800	0	769,000
広報事業収益	36,800	18,400	0	55,200	800	4,800	0	80,000
会員親睦事業収益	0	0	0	0	0	671,000	0	671,000
研修事業収益	0	18,000	0	18,000	0	0	0	18,000
<b>受取補助金等</b>	0	0	13,557,900	13,557,900	150,000	0	0	14,777,900
受取全法連助成金振替額	0	0	13,557,900	13,557,900	0	0	0	13,557,900
受取全法連補助金	0	0	0	0	150,000	0	0	150,000
受取県連補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>受取負担金</b>	0	0	0	0	0	309,000	0	309,000
青年女性部会負担金	0	0	0	0	0	309,000	0	309,000
<b>雑収益</b>	2,700	0	0	2,700	65,000	346,000	0	411,000
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	2,700	0	0	2,700	65,000	346,000	0	411,000
<b>経 常 収 益 計</b>	39,500	36,400	14,349,360	14,425,260	215,800	1,330,800	2,373,600	3,920,200
(2) 経常費用								
事業費	8,889,621	5,820,210	0	14,709,831	168,027	2,965,428	0	3,133,455
役員報酬	2,035,500	1,017,750	0	3,053,250	44,250	265,500	0	3,097,500
給与手当	1,626,190	813,095	0	2,439,285	35,352	212,112	0	2,476,464
福利厚生費	568,499	284,250	0	852,749	12,359	74,152	0	939,260
会議費	122,903	164,516	0	287,419	0	1,872,390	0	2,159,809
旅費交通費	645,939	346,879	0	992,818	16,257	92,179	0	1,011,254
通信運搬費	664,546	214,465	0	879,011	2,666	15,994	0	897,671
消耗品費	172,541	86,271	0	258,812	3,751	22,505	0	285,068
水道光熱費	90,755	45,377	0	136,132	1,973	11,838	0	149,943
図書印刷費	625,593	75,480	0	701,073	0	0	0	701,073
広報誌発行費	487,727	243,863	0	731,590	10,603	63,617	0	805,810
諸謝金	427,959	1,543,576	0	1,971,535	0	0	0	1,971,535
事務委託費	27,600	13,800	0	41,400	600	3,600	0	45,600
会場費	161,500	124,721	0	286,221	0	0	0	286,221
記念品費	394,450	415,217	0	809,667	22,000	222,247	0	1,053,914
広告宣伝費	3,082	1,541	0	4,623	67	402	0	5,092
リース料	332,747	166,373	0	499,120	7,234	43,402	0	549,756
賃借料	309,672	154,836	0	464,508	6,732	40,392	0	511,632
支払手数料	113,065	56,533	0	169,598	2,458	14,748	0	186,804
雑費	79,353	51,667	0	131,020	1,725	10,350	0	143,095
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0
給与手当	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0
水道光熱費	0	0	0	0	0	0	0	0
図書印刷費	0	0	0	0	0	0	0	0
広報誌発行費	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
事務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
会場費	0	0	0	0	0	0	0	0
記念品費	0	0	0	0	0	0	0	0
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	0
リース料	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>経 常 費 用 計</b>	8,889,621	5,820,210	0	14,709,831	168,027	2,965,428	0	3,133,455
当期経常増減額	△ 8,850,121	△ 5,783,810	14,349,360	△ 284,571	47,773	△ 1,634,628	2,373,600	786,745
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,850,121	△ 5,783,810	14,349,360	△ 284,571	47,773	△ 1,634,628	2,373,600	786,745
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	-	-	-	181,188
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-	-	11,954,087
<b>II. 指定正味財産増減の部</b>								
受取補助金等	0	0	13,557,900	13,557,900	0	0	0	13,557,900
受取全法連助成金	0	0	13,557,900	13,557,900	0	0	0	13,557,900
一般正味財産への振替額	0	0	△ 13,557,900	△ 13,557,900	0	0	0	△ 13,557,900
一般正味財産への振替額	0	0	△ 13,557,900	△ 13,557,900	0	0	0	△ 13,557,900
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	-	-	0
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-	-	0
<b>III. 正味財産期末残高</b>	-	-	-	-	-	-	-	12,135,275

公1：税知識の普及を目的とする事業、納税知識の高揚を目的とする事業、税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業  
公2：地域企業の健全な発展を目的とする事業、地域社会への貢献を目的とする事業

他1：会員のための福利厚生事業  
他2：会員支援のための親睦・交流に関する事業

# 令和5年度 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

### (1) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式による。

### (2) その他

特になし

## 2. 会計方針の変更

特になし

## 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				0
周年行事引当資産	2,200,000	0	0	2,200,000
減価償却引当資産	268,746	0	0	268,746
小 計	2,468,746	0	0	2,468,746
合 計	7,468,746	0	0	7,468,746

## 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	(5,000,000)	0
小 計	5,000,000	0	(5,000,000)	0
特定資産				
周年行事引当資産	2,200,000	0	(2,200,000)	0
減価償却引当資産	268,746	0	(268,746)	0
小 計	2,468,746	(0)	(2,468,746)	0
合 計	7,468,746	(0)	(7,468,746)	0

## 5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
県連補助金	(一社) 佐賀県法人会連合会	0	700,000	700,000	0	一般正味財産
全法連補助金	(公財) 全国法人会連合会	0	520,000	520,000	0	
助成金						
全法連助成金	(公財) 全国法人会連合会	0	13,557,900	13,557,900	0	
合 計		0	14,777,900	14,777,900	0	

## 6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
事業費計上による振替額	13,557,900
経常外収益への振替額	
目的達成による指定解除額	0
合 計	13,557,900

## 7. 引当金の明細

令和5年度該当無

## 8. 担保にしている資産

特になし

## 9. 重要な後発事象

特になし

## 10. その他

特になし

# 財産目録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	手持保管	運転資金として	31,232		
	預金	普通預金	運転資金として			
		佐賀銀行武雄支店		2,697,962		
		" "		411,389		
		佐賀共栄銀行武雄支店		80,790		
		九州ひぜん信用金庫本店営業部		261,665		
		" 宮野町支店		822,641		
		佐賀西信用組合武雄支店		510,203		
佐賀県農業協同組合武雄支所		82,729				
	(小計)		4,867,379			
<b>流動資産合計</b>				<b>4,898,611</b>		
(固定資産)	基本財産	定期預金	公益目的保有財産であり、運用益を公益事業の財源として使用している	佐賀銀行武雄支店	2,000,000	
				九州ひぜん信用金庫本店営業部	1,000,000	
				佐賀西信用組合武雄支店	1,000,000	
				佐賀西信用組合武雄支店	1,000,000	
				(小計)	5,000,000	
	特定資産	定期預金			九州ひぜん信用金庫本店営業部	800,000
					佐賀西信用組合武雄支店	1,400,000
					減価償却引当資産	268,746
					九州ひぜん信用金庫宮野町支店	2,468,746
					(小計)	
<b>固定資産合計</b>				<b>7,468,746</b>		
<b>資産合計</b>				<b>12,367,357</b>		
(流動負債)	預り金	社会保険事務所(2月・3月分) 税務署	社会保険料預り分 源泉税預り分	195,602		
				36,480		
				(小計)	232,082	
<b>流動負債合計</b>				<b>232,082</b>		
<b>固定負債合計</b>				<b>0</b>		
<b>負債合計</b>				<b>232,082</b>		
<b>正味財産</b>				<b>12,135,275</b>		
<b>負債及び正味財産合計</b>				<b>12,367,357</b>		

# 監査報告書

令和6年4月16日

公益社団法人 武雄法人会  
会長 愛野時興 殿

監事 山口直孝 

監事 小池雄二 

監事 井上英夫 

私ども監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行、計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書について、令和6年4月16日に山口監事、小池監事、井上監事3名で監査し、公益社団法人に関する法律第99条及び同法第124条に基づき、その方法及び結果について下記のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

私どもは、理事会並びに各理事及び事務局と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告の内容について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査並びに現金、預金通帳等の実地調査を行い、当該事業年度に係る計算書類について、その適正性について検討いたしました。

## 2. 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

ア. 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。  
イ. 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

# 表彰者

(順不同・敬称略)

MEMO

- 全法連表彰(伝達) 功労者表彰 小笠原 正行 (株)小笠原
- 県連表彰(伝達) 功労者表彰 立石 良作 (有)日生開発
- 単体会表彰 功労者表彰 前田 弘次郎 (有)サクラ商事
- 大型保障制度推進表彰  
一瀬 良平 大同生命保険(株)  
白浜 はるみ                   "  
藤本 真由美                   "
- 福利厚生制度推進表彰  
御所 武史 AIG 損害保険(株)  
株式会社ユーワ アフラック生命保険(株)



